



850

Color Classic Situation Note Extention

成人向け書籍



フェイト  
さん……

こちらの方は  
完了です

特にこれと  
いって発見は  
ありませんでした

そう……

それじゃあ……  
ティアナは先に  
艦の方へ戻ってて  
くれるかな

いえ……今から  
私もこちらに  
向かいます

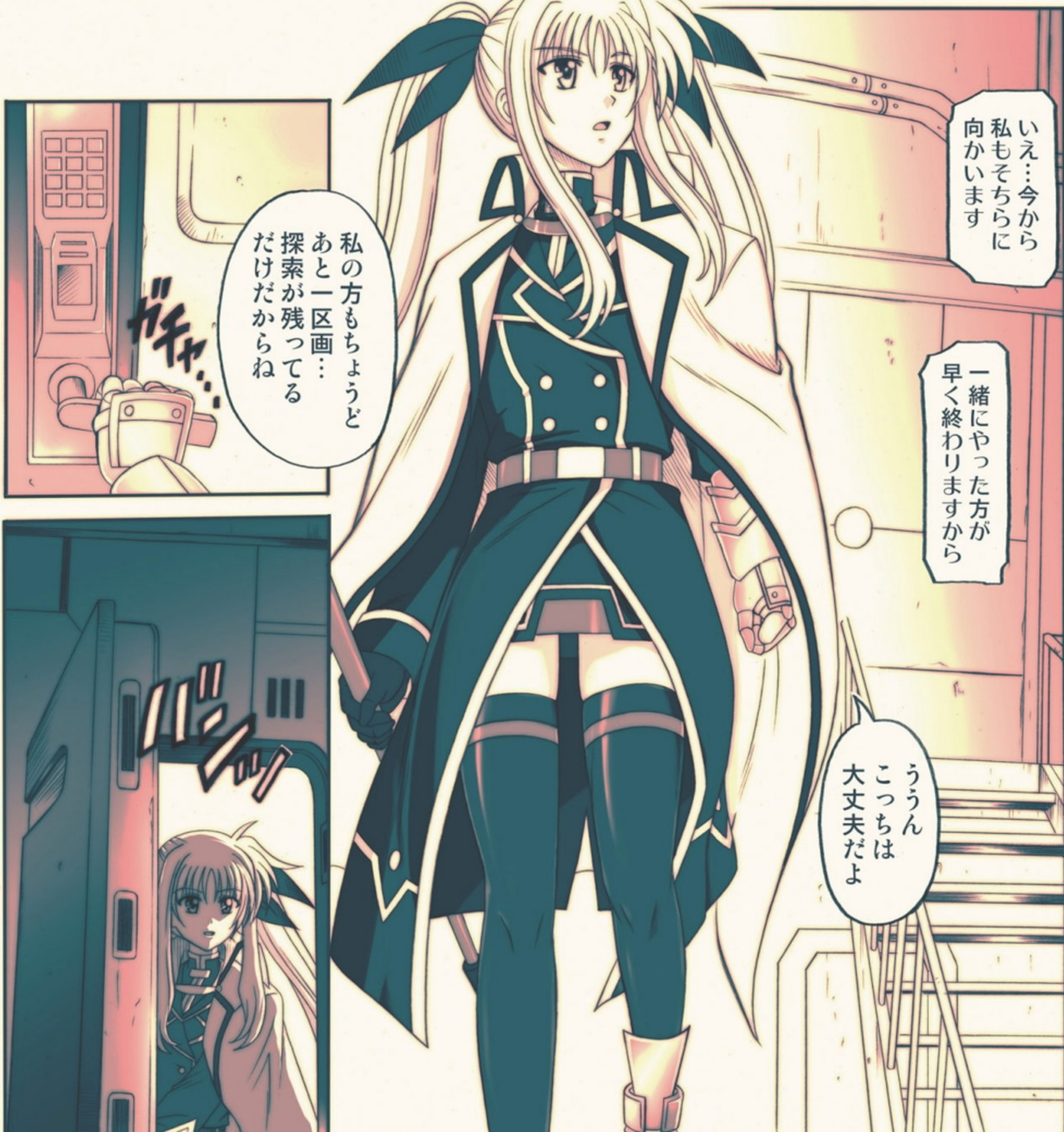
一緒にやった方が  
早く終わりますから


私の方もちようど  
あと一区画……  
探索が残ってる  
だけだからね

ガチャ……

ううん  
こっちは  
大丈夫だよ

バキッ





ただでさえ  
別次元での長期任務を  
こなした直後だし

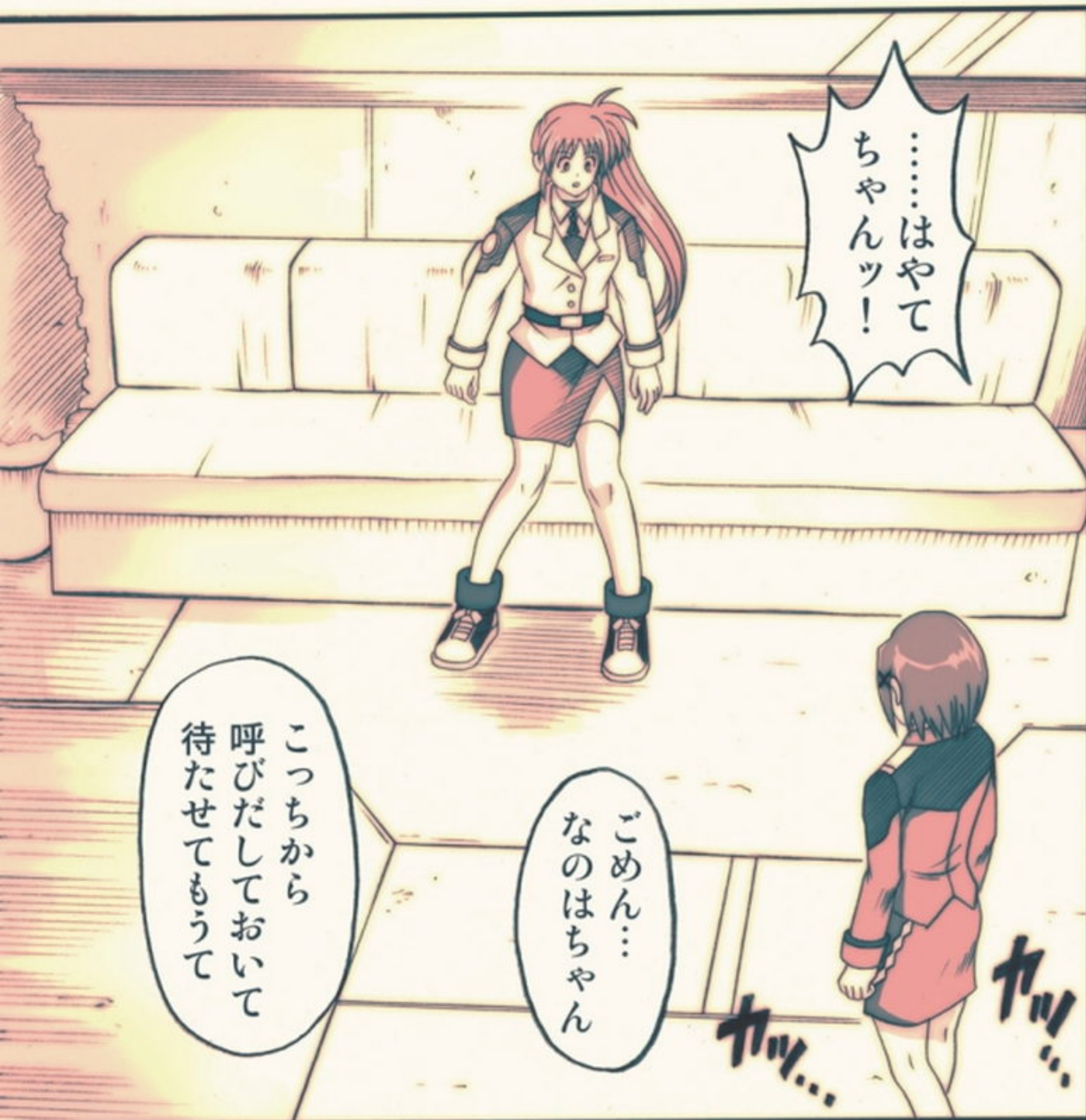
連続稼動が続いてる  
クロスミラーージュも  
早く休ませてあげて

…分かりました

それじゃあ  
フェイトさん：  
お先に戻らせて  
頂きます

うん：  
私もすぐに  
戻るよ

Chapter 1



上からストップがかかっているみたいでも本局の人間に聞いても誰一人正確な情報を持っていないの



そんな事は良いんだけど  
フエイトちゃんが病院に運ばれたって...  
...本当なのツ?

なのはちゃんには  
ちゃんと伝える  
つもりやったけど…

とりあえず現場への  
流出は避けたかったから  
急いで処置を講じてな

情報を知るモンの  
外部接触から何まで  
徹底して禁じとる

お願い教えて…  
何が起きたのツ

ギョッ

…うん

今…  
見せるよ

ピッ

!!?

フェイトちゃんは…  
今はクラナガンの  
隔離病棟や

見てのとおり  
救出から一日以上  
経った今も  
意識は戻ってない

ワ  
ワ

フェイト  
ちゃん…

何で…  
こんな事に…

サーチャーを同伴させての  
作業やったらしく…  
何が起こったのかは映像に  
記録されてて分かってる

ただ…刺激が強すぎて  
なのはちゃんにありのまま  
見せるのが良い事かどうか  
…わたし自信もてへん

そういう  
内容の報告や  
上がってきたんは



このッ…

このおっ—  
ッ!

クイン



大丈夫…

お願いだから  
映像出して



…  
ッ



数が  
多すぎるッ

これじゃ…  
きりがなッ



空間攻撃で  
一気にカタを…

ピッ。ピッ。

バシッ

バシッ

いくよ  
バルディツ……

しきッ……

ビュッ

ガッホッ

んんんッ!!!

んッ!

んんッ——  
ッ!





んんん!!!

んツ……

んツ……

んんん

んんん

んんん

んんん

んんツ——ツ

んんツ——ツ

んんん



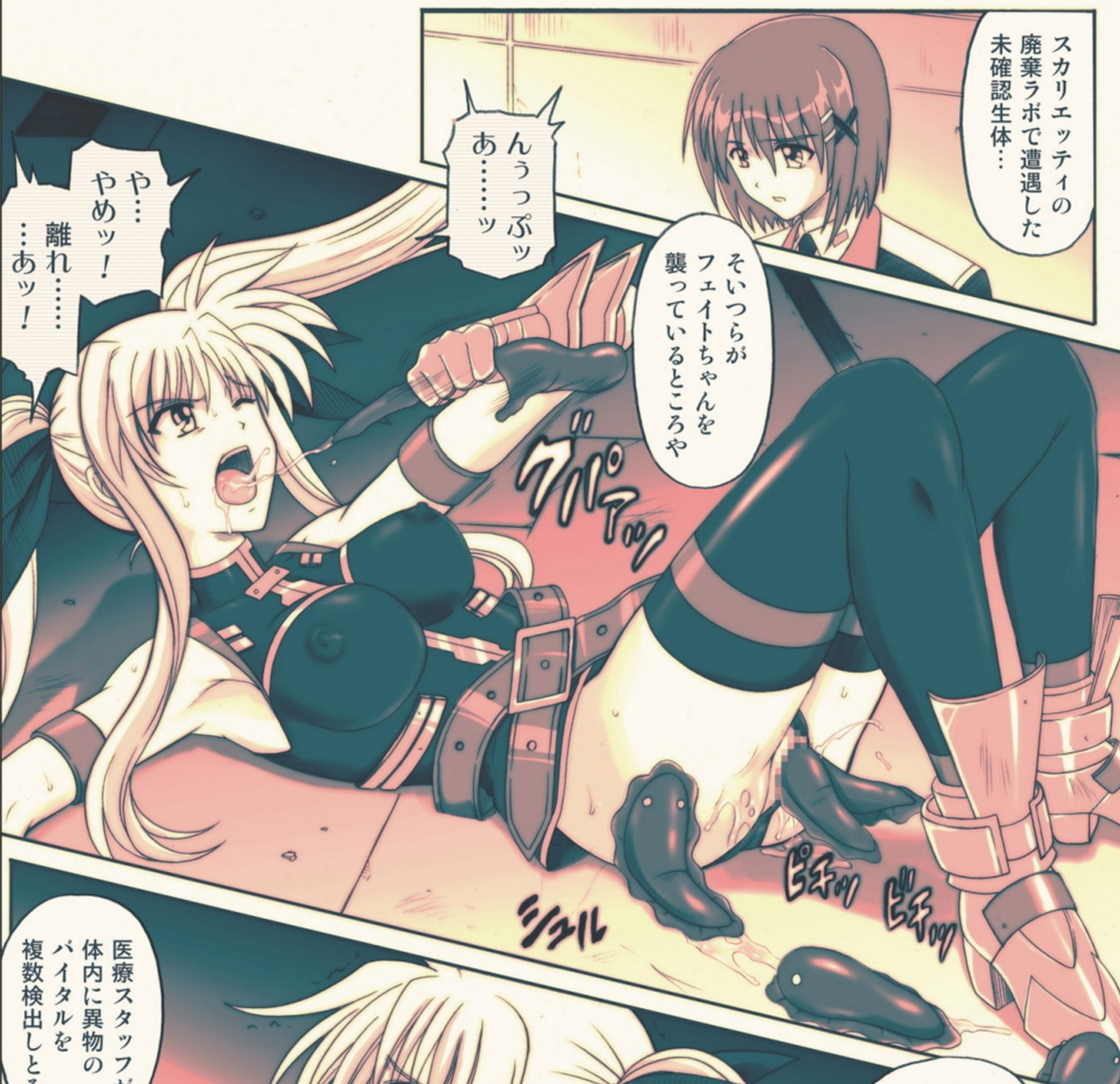


んッ!

んんうッ!

何なの……

これ……



スカリエッテイの  
廃棄ラボで遭遇した  
未確認生体……

そいつらが  
フェイトちゃんを  
襲っているところや

んうっぷッ  
あ……ッ

やめッ!  
……離れ……  
……あッ!

医療スタッフが  
体内に異物の  
バイタルを  
複数検出しとる

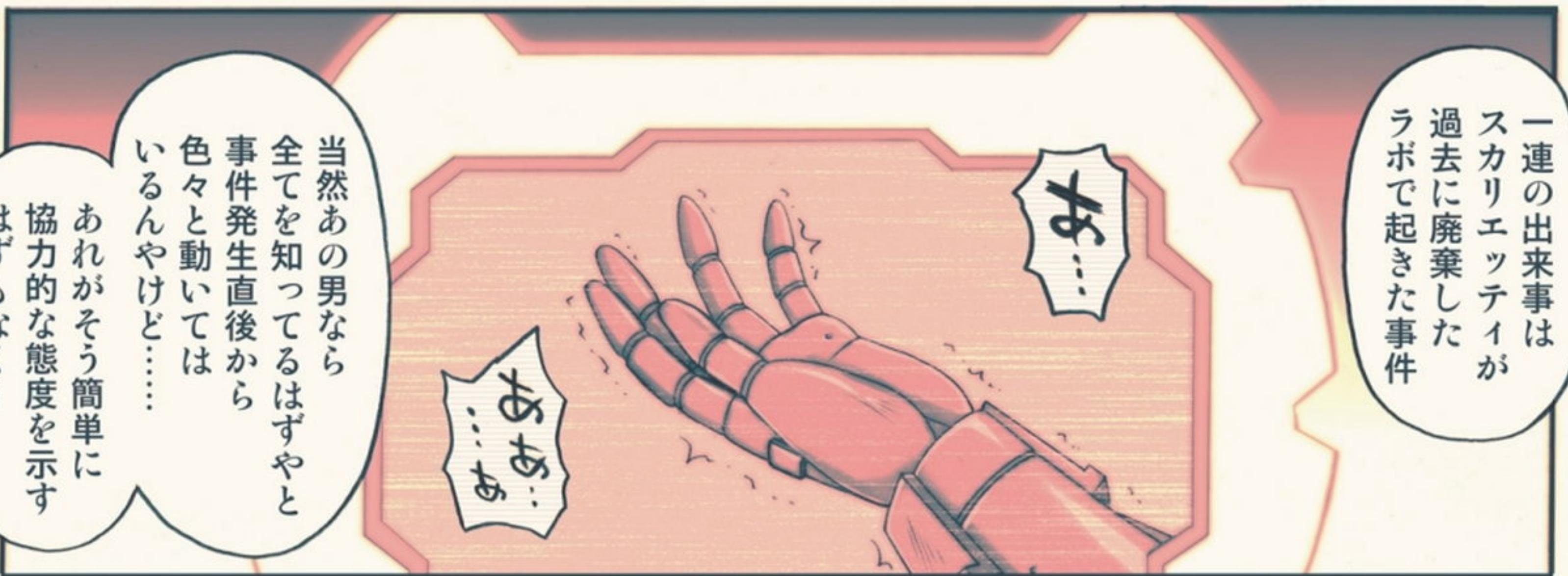


結論を先に  
言う……今の  
フェイトちゃんは  
あの生物に「寄生」  
された状態らしく

うそッ……

中で……  
動いて……る……

ハア  
ハア



スカリエッテイが……私と会いたがってる？

いっ……

しゅる……

あ……

あ……

ピクッ

あ……

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

あ……

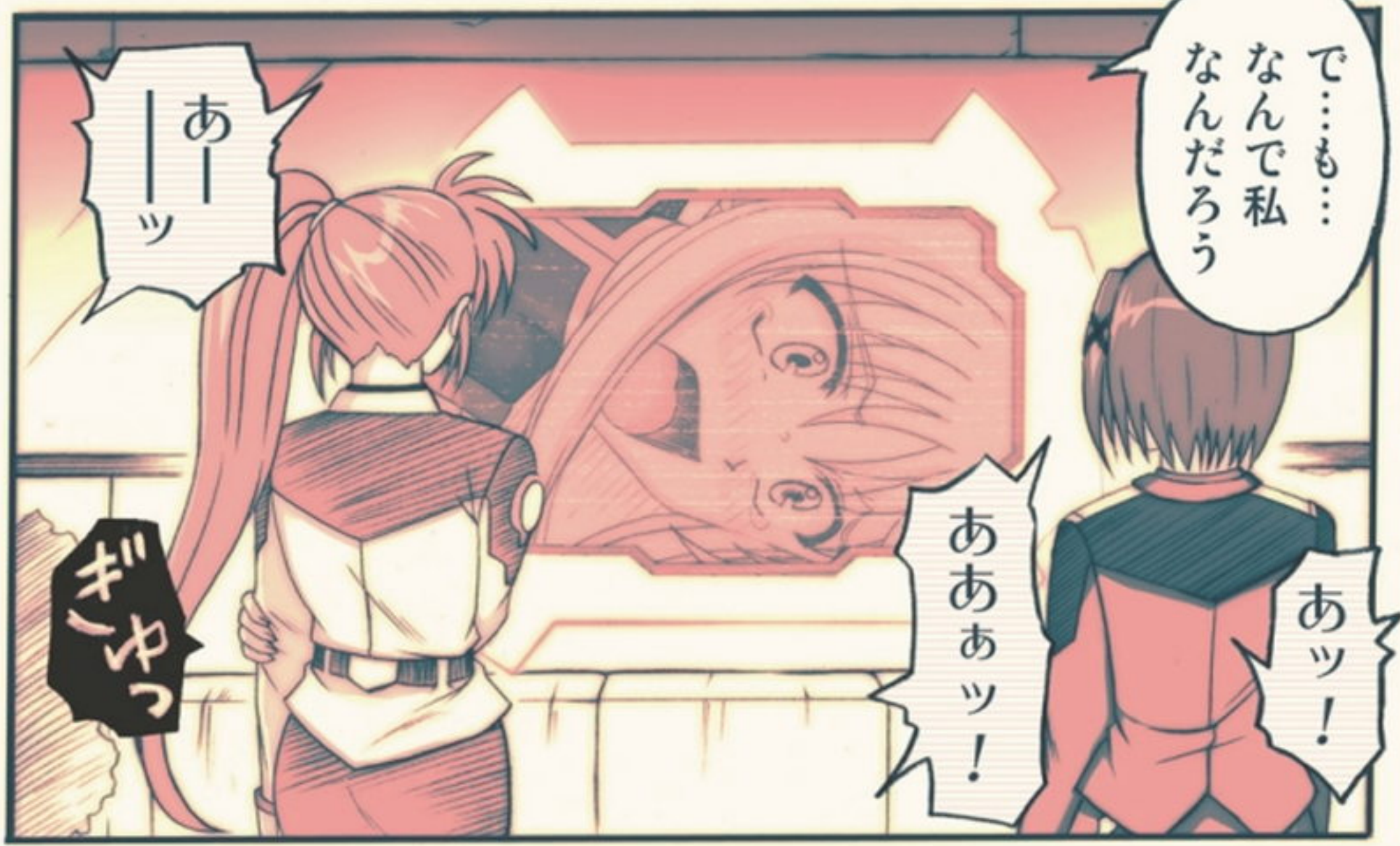
あ……



うん……

拘束具の取り外しと時間の制約を設けない状況でなのはちやんと一対一で話をさせる

この条件のむなら協力してやっても……ってな



で…も…  
なんで私  
なんだろう

あああッ!

あッ!

あーッ

ギヤッ



まさか拘置所内で  
いきなり襲いかかっは  
こんとは思うけど…

それは…  
分かんへん  
まあ…



ただ万が一って  
事もある

いっ  
すま

いっ  
すま

いっ  
すま

スカリエッテイ自身が  
戦闘能力を保有  
しとる事は確認済みで  
加えて拘束具なし…  
たった一人での  
面会という状況や



拘置所内としては  
やや異例やけど  
最低限の武装はして  
面会した方が  
ええと思うから

一応私の方で  
もしもの場合の  
魔法使用の許可を  
とってお…



ごめん  
聞いてるよ

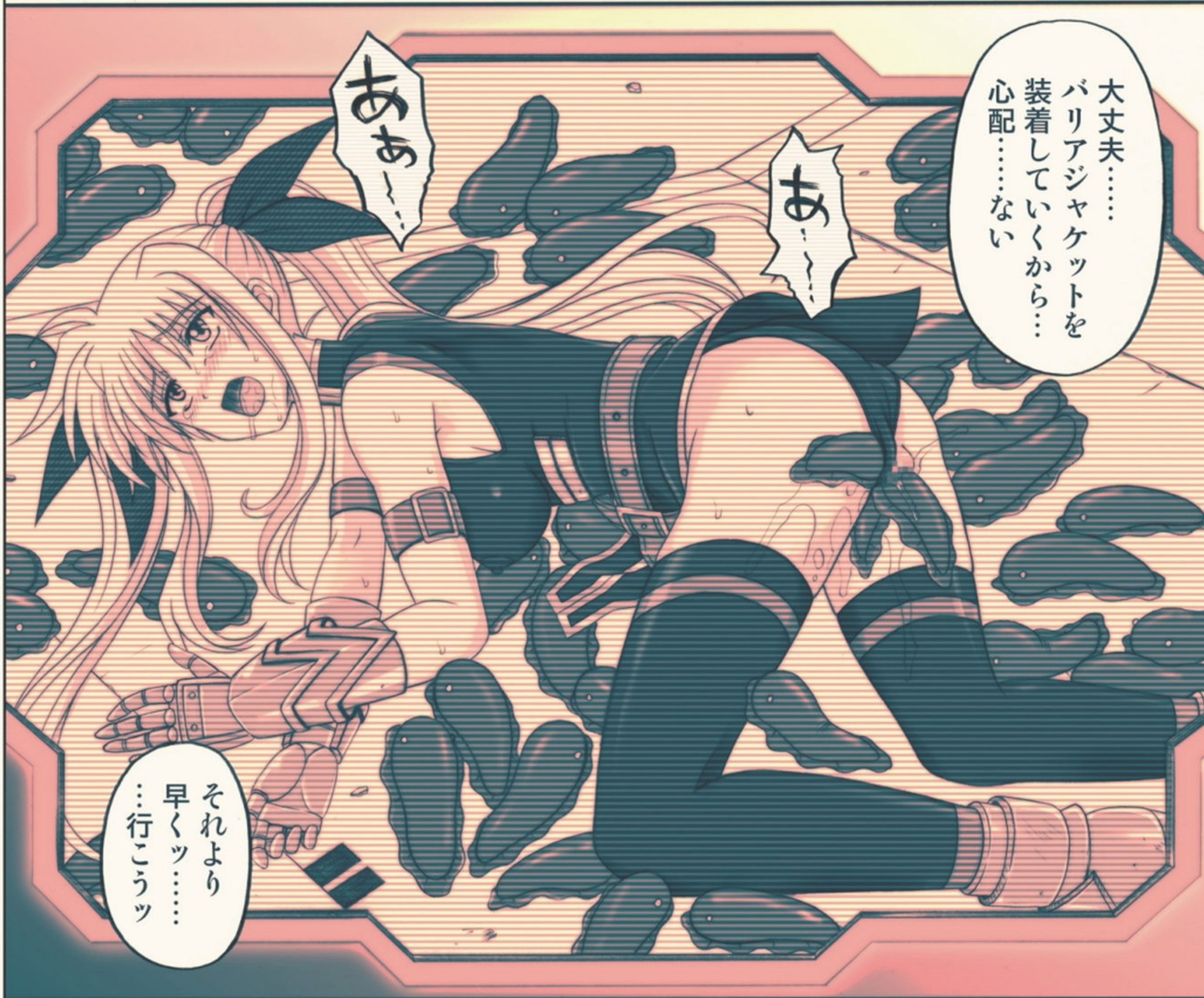
あ……  
うん……



なのは……  
……ちゃん？

聞いてる……か？

?

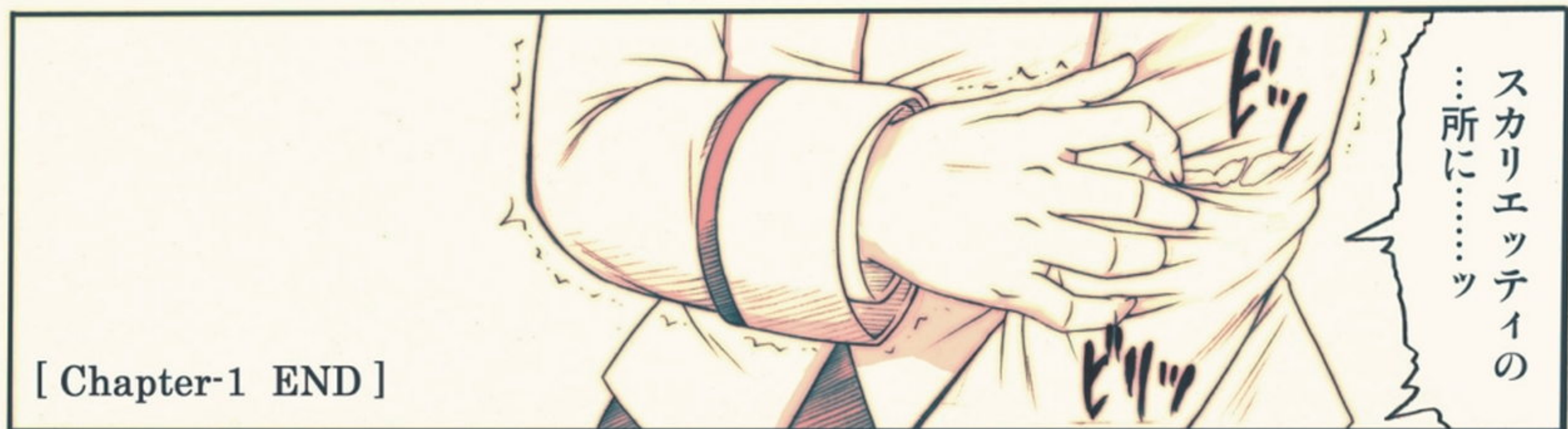


大丈夫……  
バリアジャケットを  
装着していくから……  
心配……ない

あ……

あ……

それより  
早くッ……  
……行こうッ



スカリエツティの  
……所に……ッ

[ Chapter-1 END ]



やあ……  
はじめまして

待っていたよ

私

映像の中では  
もう何年も前から  
顔を見させて  
もらっていたん  
だけどね

思えば  
面と向かって  
話すのは  
これが初めてだ

軌道拘置所内 最重要区画

キミに会えて  
光栄だよ

高町…  
なのは

武装局員が寄生体  
に襲われた件で  
うかがいました

私が出向くことで  
情報を提供して  
頂けると—

ああ聞いて  
いるよ…

管理局からは  
何度もその事で  
話を聞かれた

しかしまあ…  
みんな私には  
『武装局員が寄生』  
と言うんだが

アレが単なる  
武装局員に寄生する  
はずがないんだよ  
何故ならあの罫は…  
執拗に私を追い続ける  
目障りな誰かさんに対して  
仕掛けておいたもの  
なんだからね

ひょ

クソッ



断言  
しようか？



それが本当に「寄生」  
したんなら  
相手はフェイト執務官  
以外ありえない

別の誰かが遭遇したならば  
殺すようプログラムされて  
いるからね…アレは

まあ私のラボを荒らす  
人間なんて限られて  
いるからッ

彼女にあたる可能性は  
そもそも極めて  
高いわけだが

…どうだい？  
大当たりだろう？



ハハハハッ

どんな感じ  
だったのかなあ？  
アレに襲われた  
フェイト執務官は

……

ああ…私も聞きたかったよ  
…辱められる彼女の悲鳴を



フェイト執務官は  
あなたを心底  
憎んでいたけど…

それでもいざ  
逮捕してみたら  
隔離施設の子たちのように  
少しでも真つ当な心を  
持つてもらえないかって  
期待も持ち始めて…

まあでも…そんな事は  
あなたにとつて  
どうでもいい事なのかな



何ていうか…  
あなたは本当に  
救いようのない人  
なんだね



教えてッ

…どうすれば  
助けられるのか

少なくとも私にしか  
できない要求が  
あつてわざわざ指名  
してきたんでしよう？

ふふ…  
それはそうだ

確かに普通の要求なら  
キミのような尉官クラスの  
人間に来てもらったって  
仕方ないからね

……  
なのはちゃん



しかしまずは…  
話し合いの  
雰囲気作りが  
必要だな

それに両の手もね…  
頭に乗せるなりして  
接してもらえないと  
いまいち私も  
警戒が解けないよ

キミのその突き刺すような  
魔力の待機状態…  
さつきから脅されている  
ようで実に不快なんだが  
せめて  
ジャケットの解除か  
性能を落とすなりして  
敵対的な態度を  
改めたらどうだい？

レイジングハート…  
言われた通りをお願い

Cutoff supply.

ああ…あと

一応さつきののは  
侮辱なんだろうが

口には多少  
気をつけてくれ

気は短くないが  
さつきの哀れんだ  
言い方は失礼だ

なッ…

げほッ

げほッ

かはッ

はッ



ぐッ...  
くッ...

ふふ...かなり  
苦しそうだねえ

ジャケットの性能を  
落とすと  
これぐらいの衝撃でも  
そんなに肉体に響くのかい？

くッ



私はね...  
生まれた時から刷りこまれた  
欲望を叶えるために  
実に充実した日々を  
送ってきた

だが...ここで  
生きがい奪われた  
生活を続けるうちに  
少し人間が変わって  
きたようなんだ

...??  
何を...



ま...  
とりあえず

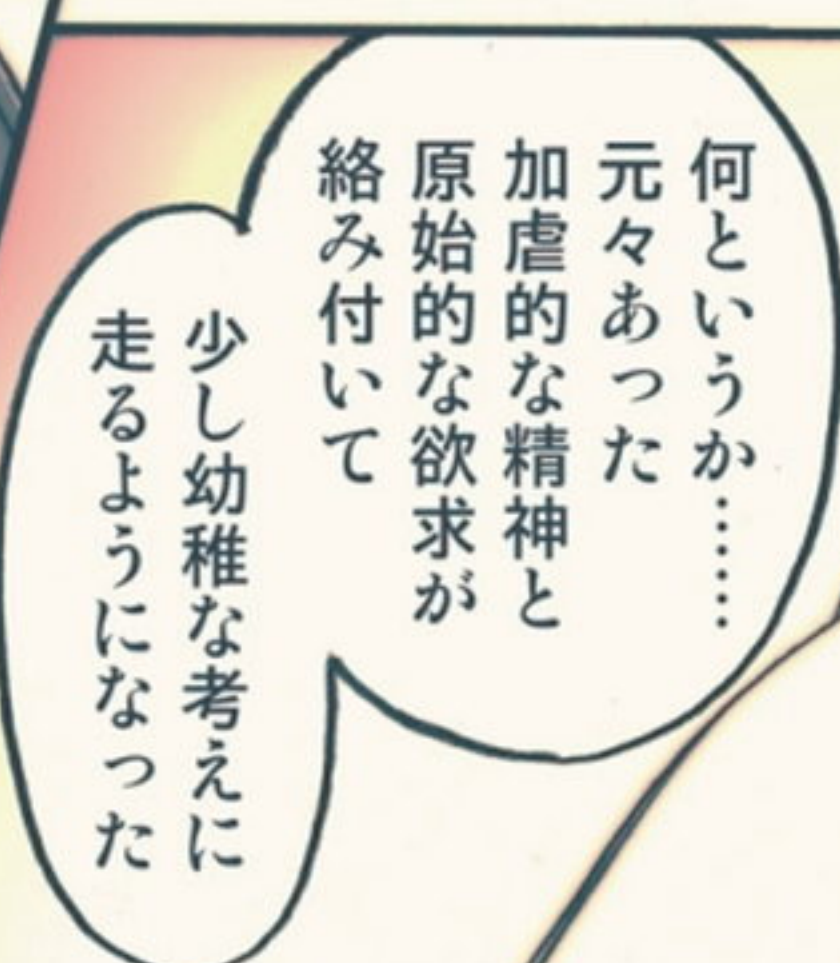
これでキミも少しは  
自分の立場を理解  
できただろうから

ぼちぼち話を  
始めようか



たとえば...

私の夢の邪魔をした  
キミに八つ当たりを  
したくなったりとかね



何というか...  
元々あった  
加虐的な精神と  
原始的な欲求が  
絡み付いて

少し幼稚な考えに  
走るようになった

そしてその手段も

トッ...

なッ...

なのはちゃん!

ゴッ...

こんな風に

実に低俗なやり方が好ましく思えるんだよ

早く処置しないとフェイト執務官は手遅れになるよ

なのはちゃんツ... 面会は一時中断やいま... 局員をそっちへまわすから待ってて

ああ... ちなみに事前に一つ大切な事を伝えておこう

ごめん... はやてちゃん

このまま私に... 続けさせて... お願い

そう... か分かったよ



うッ...

つく...  
うッ...

はッ...

くッ...

グッ

ズッ

はッ...

くちゅ くちゅ

グッ

グッ

グッ

グッ

抗いもせず...  
素直で結構

ところで一つ  
質問なんだが...

先程から膣の中が  
どんだん滑り気を  
増しきていてね

これは  
私の指の動きを...  
気持ち良いと感じて  
くれているのかな?

別に...

気持ちよく  
なんて...





ツ!

あ…  
そうそう



キミの腕に先程つけさせて  
もらったのはウソ発見器

日頃これをつけて  
私は聴取を受けるんだが…  
今日はキミに使わせて  
もらおうよ

ちなみに  
動作の精度は  
今ので  
充分だろうか?



ハア  
ハア

本当は感じている  
にも関わらず強がる  
キミに 器具はちゃんと  
反応してくれたわけだ

でも  
いいかい?

もしもこの先  
ブザーを鳴らす  
ような事があれば

キミの誠意の無さに  
応じて私も情報  
提供を止める  
つもりだから……  
気をつけたまえよ

…分かった

それじゃ  
早速だが

キミの心の  
内側を少し調べ  
させてもらおう  
かな



ギョッ

カアアア

高町なのは  
キミが初めて  
自慰をしたのは  
何歳の頃なんだい?

…ツ

正直に答えなければ  
この面会は終了  
もちろん沈黙も  
認めない





ふむ……

器具が反応しないから本当のようだ

それじゃ  
ご褒美をあげよう

カキユツ



……じゅ

15歳の時……  
だったと……思う



ビクッ

んうツ……あ



では次……  
処女を捨てたのは  
いつかな

ほう……意外だな  
武装隊なんか  
身を置いていたキミが  
未経験だなんて

では……自慰行為を  
どれくらい頻度で  
やっているのか

その時に  
誰かの顔を頭の  
中に描いたり  
するのかな？

……まだ

……1ヶ月  
……一度くらい

……する……時も



ああ……  
キミに魔法を  
伝えたあの男か

へえ……

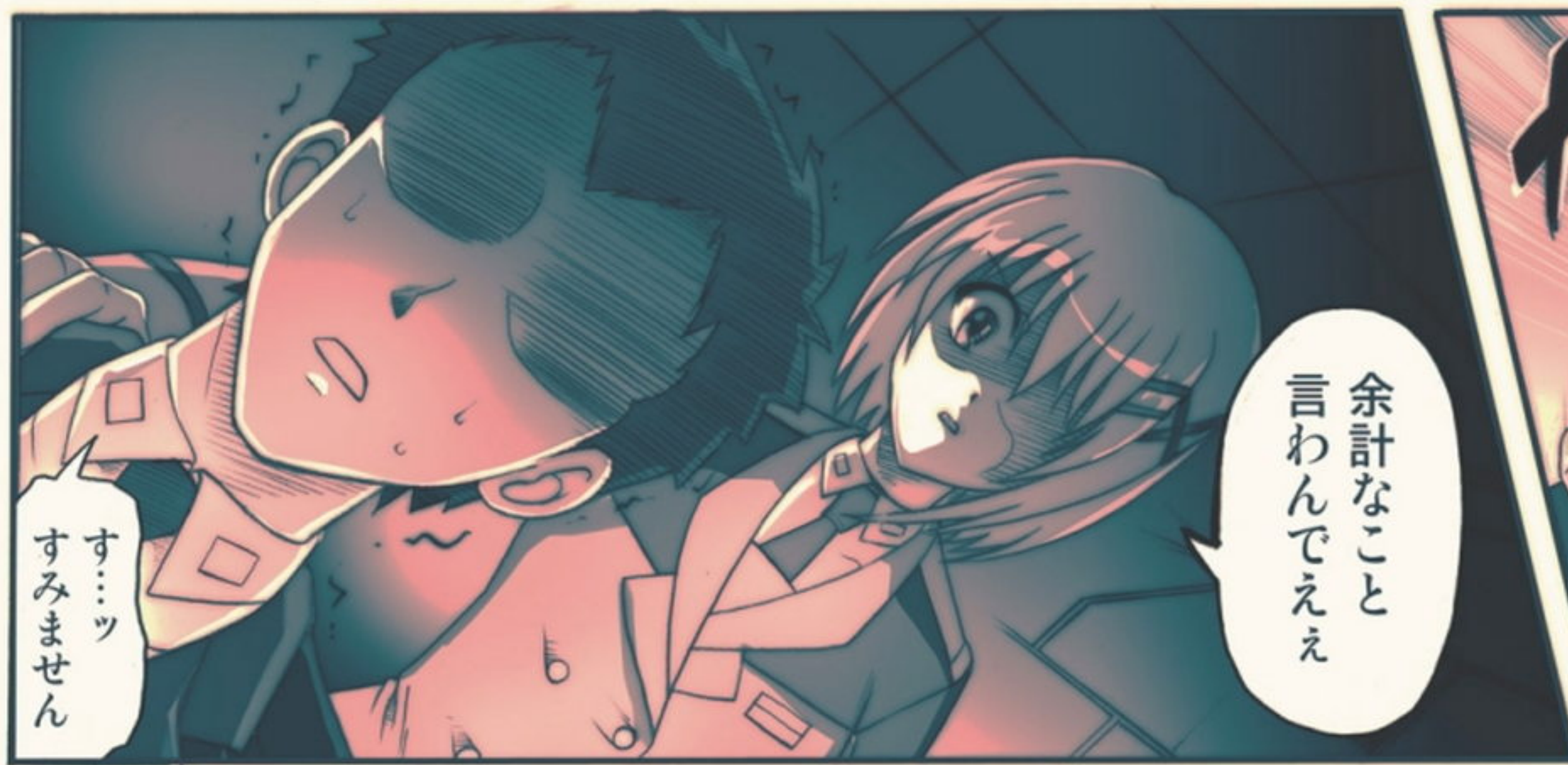
本局のエースは  
無限書庫の  
司書長が  
本命ってか



誰だい？  
名前を言って  
ごらん

……ユ

ユーノ……君



余計なこと  
言わんでええ

す…ッ  
すみません



ただ  
その前に…

キミのパンツの中に  
入っていた手に  
こんなモノが付着  
してきたんだが



はあ…

ふふ…  
はいよく  
出来たね

どれも警告音が  
鳴らなかつたから  
事実を話してくれた  
というわけだ

はあ…

一応はキミの誠意って  
ヤツを感じ取れたから…  
…少しだけあの寄生体  
について教えてあげよう



う…

んう…ん



このままじゃ  
汚いから  
自分で舐めとって  
くれないか?



ふふ…  
…結構

さてそれで…  
あの寄生体の  
ことだがね

蟲たちに  
身体を  
のつとられて  
しまうのさ

な…ッ  
じゃあ  
どうすれば助—



アレは今ごろ…  
フェイト執務官の体内で  
リンカーコアへの干渉を  
行っている真っ最中って  
ところだろう

じきにコアの掌握が済めば最後…  
蟲に仕込んだ侵食型プログラムが  
彼女の精神を汚染し…



アレを無理に  
取り出そうとすれば…  
それは酷い事になる  
から気をつけたまえ  
防衛機能が働いて  
体内でドカンッ  
フェイト執務官は  
一瞬で肉の塊だ



助け…る  
手段は…  
あるのッ?

一応ある  
がそれを  
キミに言うかは  
別問題だ



だってそうだろう？  
あの罫はフェイト執務官を  
苦しめるために  
用意したというのに

簡単にそれを止めて  
どうして私の溜飲が  
下がるというんだい？

じゃあ……  
言い方を変えるよ

私にできる事で……  
あなたを満足させる方法が  
あるのなら……教えて



私の前に  
ひざまずき  
その口で男性器を  
しゃぶったりは  
出来るかな？

アイツ



満足ねえ

それじゃ本当に  
自己犠牲の覚悟が  
あるのならば



……分かったよ

……ッ



なのはちゃん！

ぐッ……



あなたに従う  
スカリエッティ

なのはちゃんッ！

はやてちゃん……  
気を使ってくれて  
ありがとう

でも……聞いたでしょ？  
フェイトちゃんの状態  
かなりまずいよ

それでも……  
スカリエッティの  
言葉がすべて  
真実だとしてや

どこか誇張が  
あるかもしれないし……  
そんな性急に  
自分を犠牲にする  
ような要求  
飲む必要ないッ

それは……  
そう……かもしれない

でも彼の言葉が  
もし本当だったら  
最悪な結果が待ってる

ぼうっとしてないで  
さっさとズボンを  
下ろしたらどうだい？

もちろん無茶は  
するつもりないよ

だけども  
秤にかけられているのは  
私の命でも何でもなくて……

単に恥ずかしい思いを  
我慢するかどうかって  
……ただそれだけの事

でも……

はやてちゃん……ッ

一番辛いのは  
私じゃなくて……

……ッ

ギュッ

フェイトちゃん  
だよ？



そう……  
フェイトちゃん  
味がわかれた事に  
比べれば……

これ  
くらい……



どうした？

おしげ  
づいたかい？



う……ッ



ん……

たいした事……

ん……

ハア

たいした  
事ないッ

はも……

ん!!

ふふ：  
これは良い

ギョッ

ん!!

正直これまで私は  
性欲というものに  
まるで関心が無くてね

たとえ裸の女が  
目の前に転がっていても  
男性器がそり立つ  
ことなど無かったんだが

しかし……  
こんな私でも  
今この状況には  
興奮を隠せないな

なにせ  
辱めている相手は  
あの高町なのは……

本局にいる私の  
シンパが言ってたよ

キミは空に愛されている女……  
一度あがれば  
必ず勝利を持ち帰ると

その高名な魔道師が  
いま何をしている？  
私の目の前に引きずり  
だされ 臭い男性器を  
啜っているんだ

しかし……だ  
それがどうだいッ

まったくその通り……  
ゆりかごと聖王も  
結局キミの守る空で  
墮とされた

これは興奮しない  
ほうがおかしい

ん!!

ん!!

ん!!

ん!!

ん!!

ん!!

ん!!

ん!!



別に……

ぺろ…

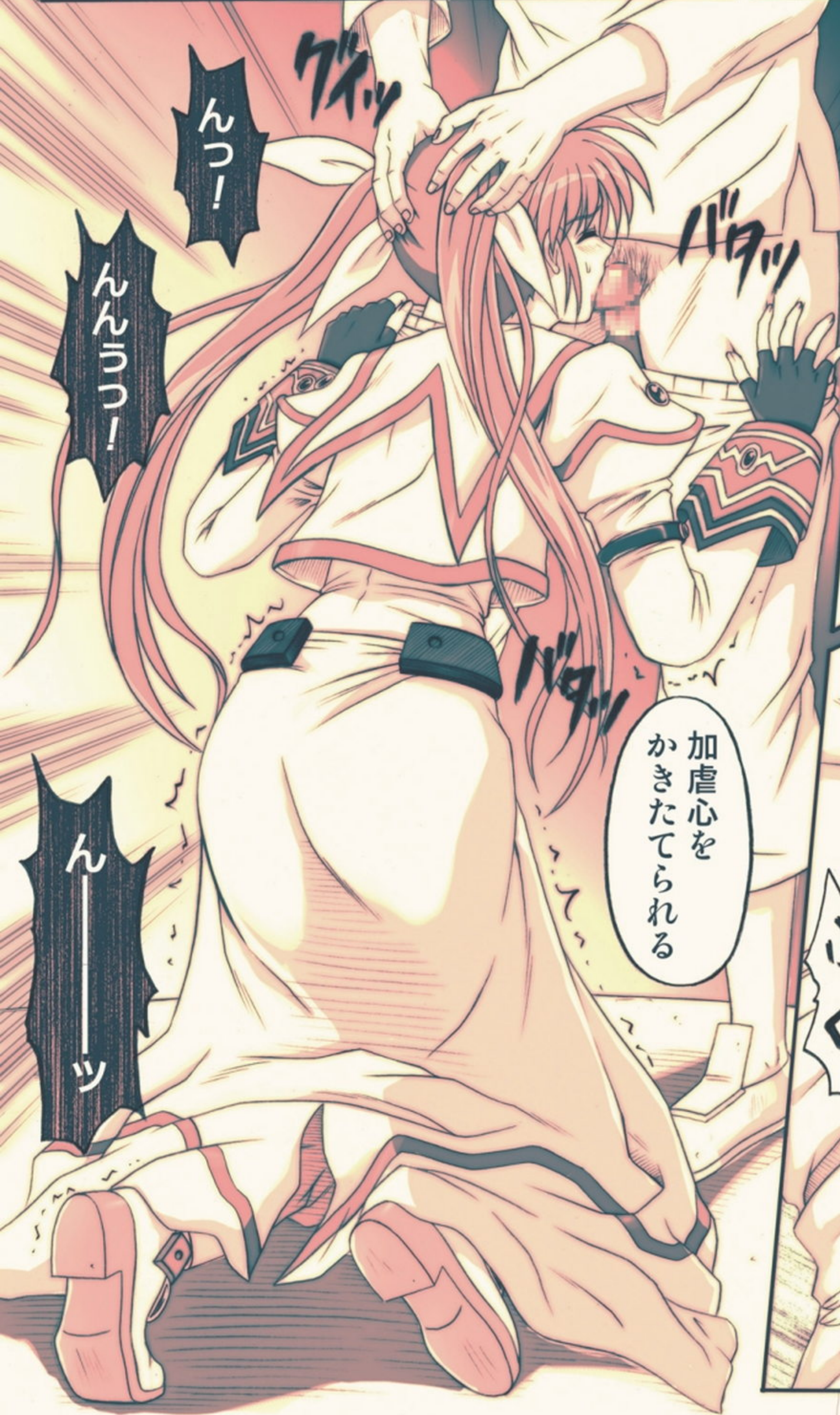
こんな  
つまらない事で  
あなたが満足なら

それでいいと……  
納得してやってる



ふふ…逆にキミに  
とってはさぞかし  
屈辱だろうなあ

ミッド地上を救った  
エース・オブ・エースが  
なぜ敗軍の将に辱められ  
なければならぬのかと



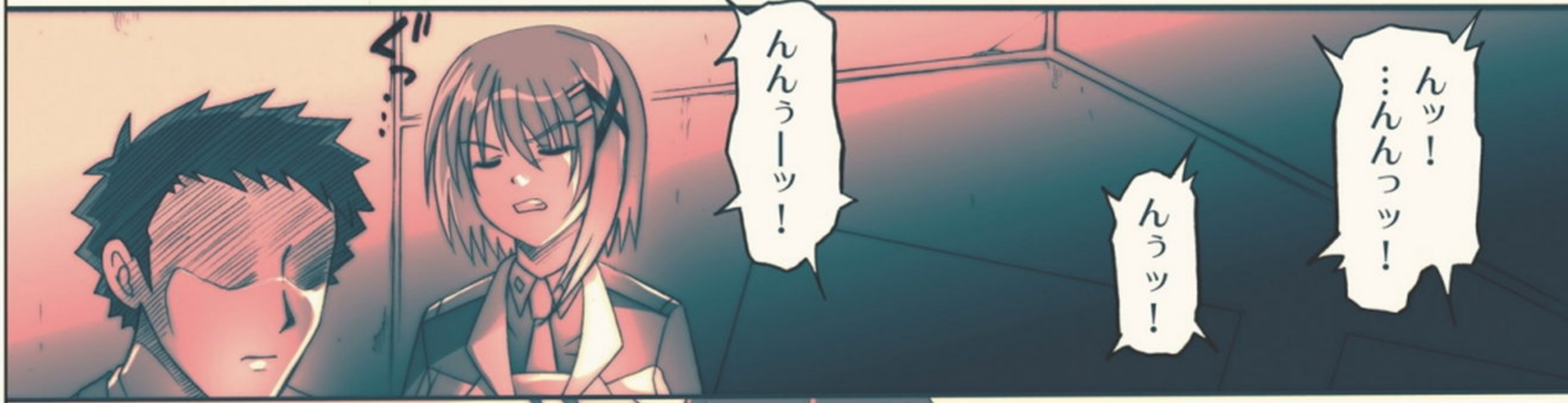
加虐心を  
かきたてられる



ああ……  
いいねえ  
その反応  
実に……



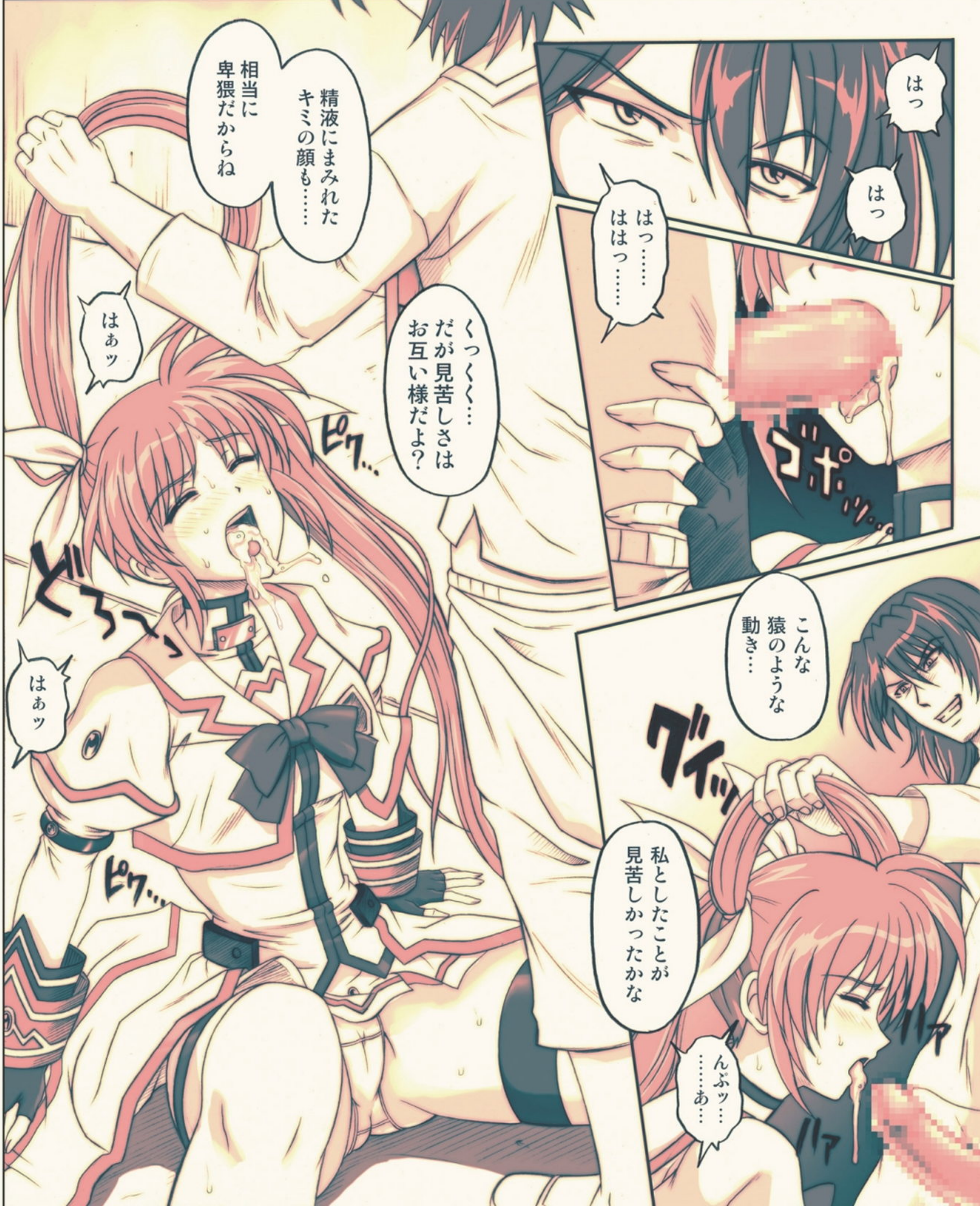
ふんぐ!!



んッ!  
…んんっッ!

んうッ!

んんうーッ!



相当に  
卑猥だからね  
精液にまみれた  
キミの顔も……

くっくく…  
だが見苦しさは  
お互い様だよ?



はっ

はっ

はっ…  
ははっ…

こんな  
猿のような  
動き…

私としたことが  
見苦しかったかな

んぶッ…  
…あ…

はあッ

はあッ

ピク…

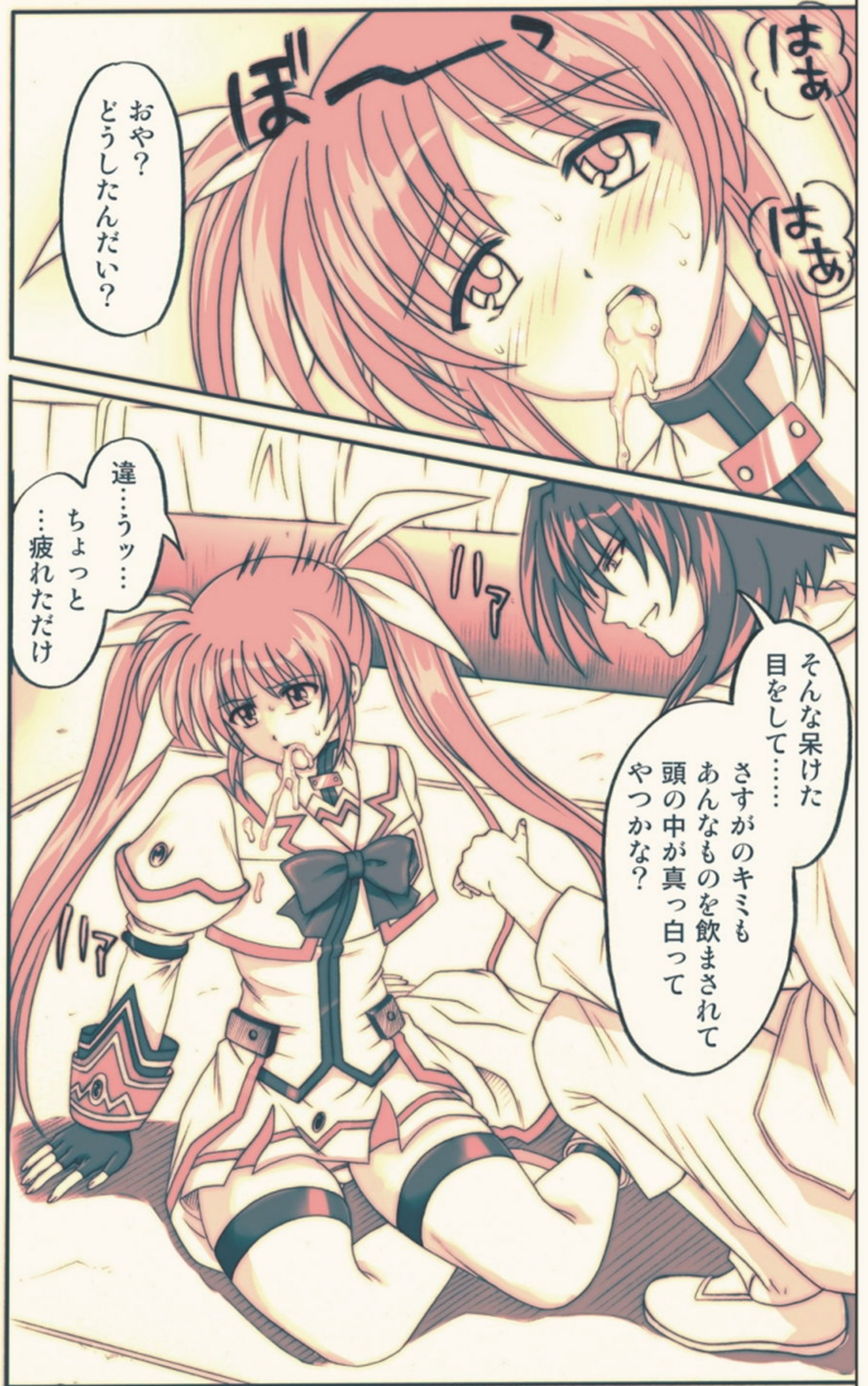
ヒューッ

ピク…

グイッ

ハア

ハア



おや?  
どうしたんだい?

ほ

違...うツ...  
ちよつと  
...疲れただけ

そんな呆けた  
目をして...  
さすがのキミも  
あんなものを飲まされて  
頭の中が真っ白って  
やつかな?

さあ...これで  
満足した?  
ふん...何の冗談だい  
私の溜飲が  
たったこれだけの余興で  
下がるとても?



さっさと  
口の中の精液を  
飲み込んで...  
そのこのベッドに  
横になりたまえ



何なら  
フェイト執務官の  
短い人生と引き換えに  
己の貞操を守るといい

もちろん  
拒否するの  
自由だよ



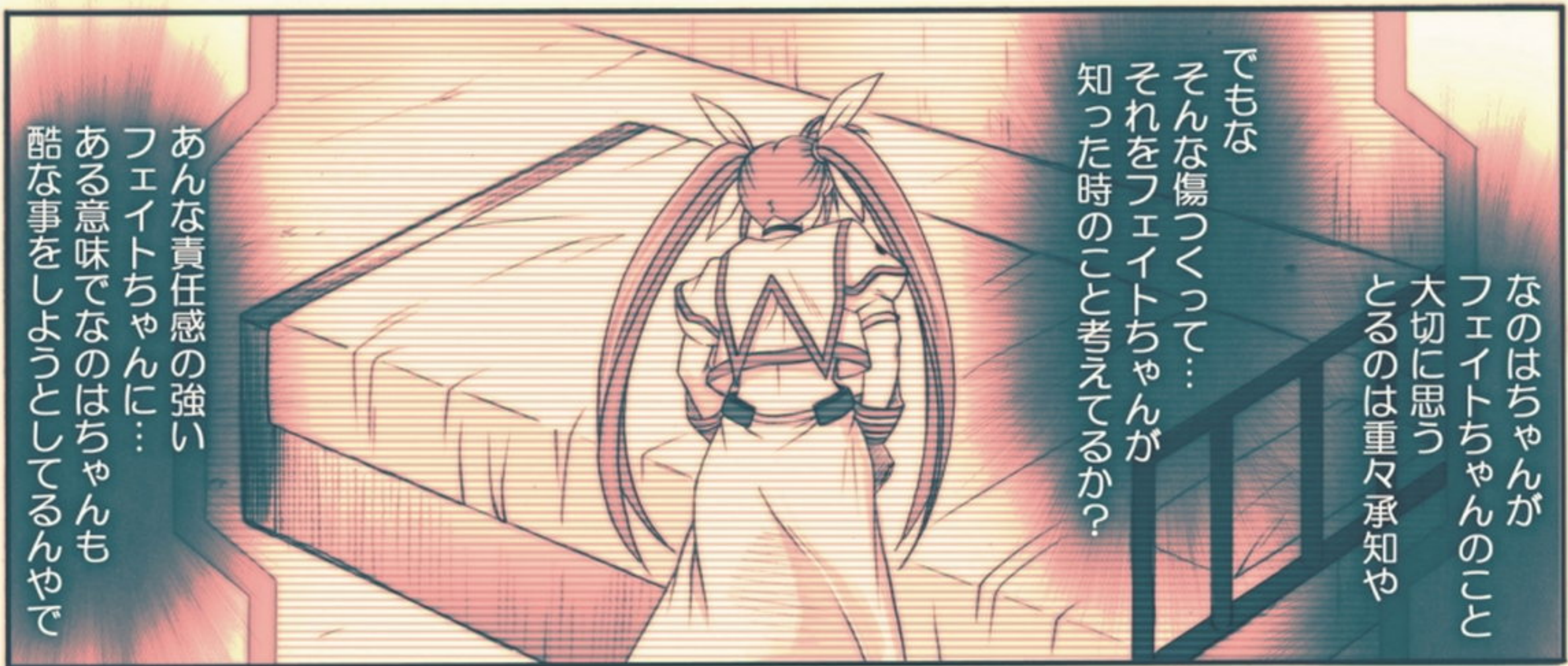
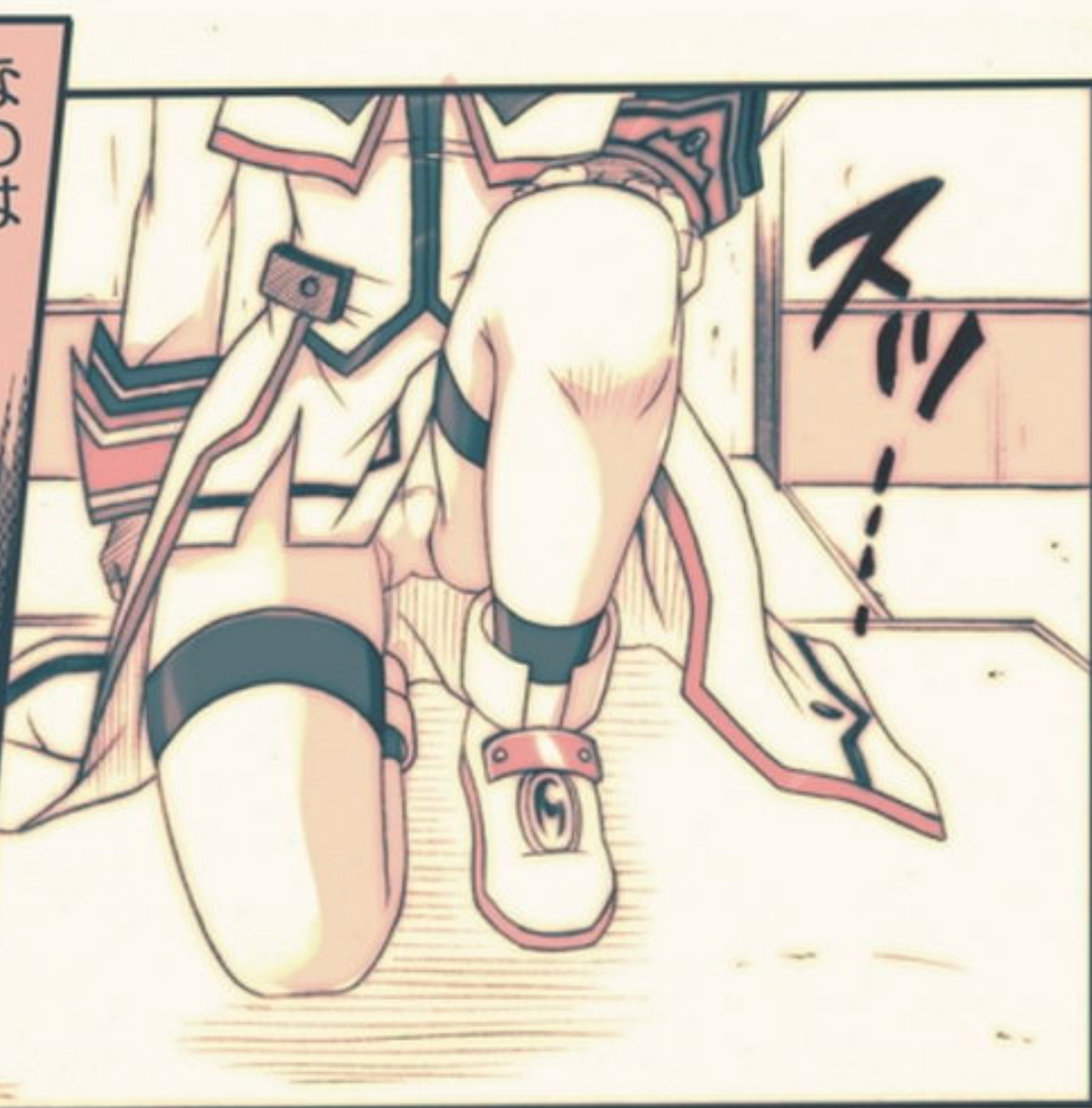
...本気  
...なのツ





なのはちゃんっ！

もうええから  
別の手  
考えようッ



なのはちゃんが  
フェイトちゃんのこと  
大切に思う  
とるのは重々承知や  
でもな  
そんな傷つくって…  
それをフェイトちゃんが  
知った時のこと考えてるか？

あんな責任感の強い  
フェイトちゃんに…  
ある意味でなのはちゃんも  
酷な事をしようとしてるんやで



それは……

そう…だね



…ええか？  
よお聞いてや



スカリエッティへの  
24時間監視を止める  
権限は私にない

つまり今見ているこの映像の  
記録も止められへんし…  
ここのスタッフを退室  
させる事もできんのか

……

こんなん…隠そうとしても  
いずれフェイトちゃんは  
今回の件について  
詳細を知る事になるよ？



日ごろ私に  
使っている  
拘束具だ

…縛らせて  
もらうよ

私にはフエイト  
ちゃんが必要  
そのために  
今こうしなくちゃ  
いけないって  
私自身が判断した

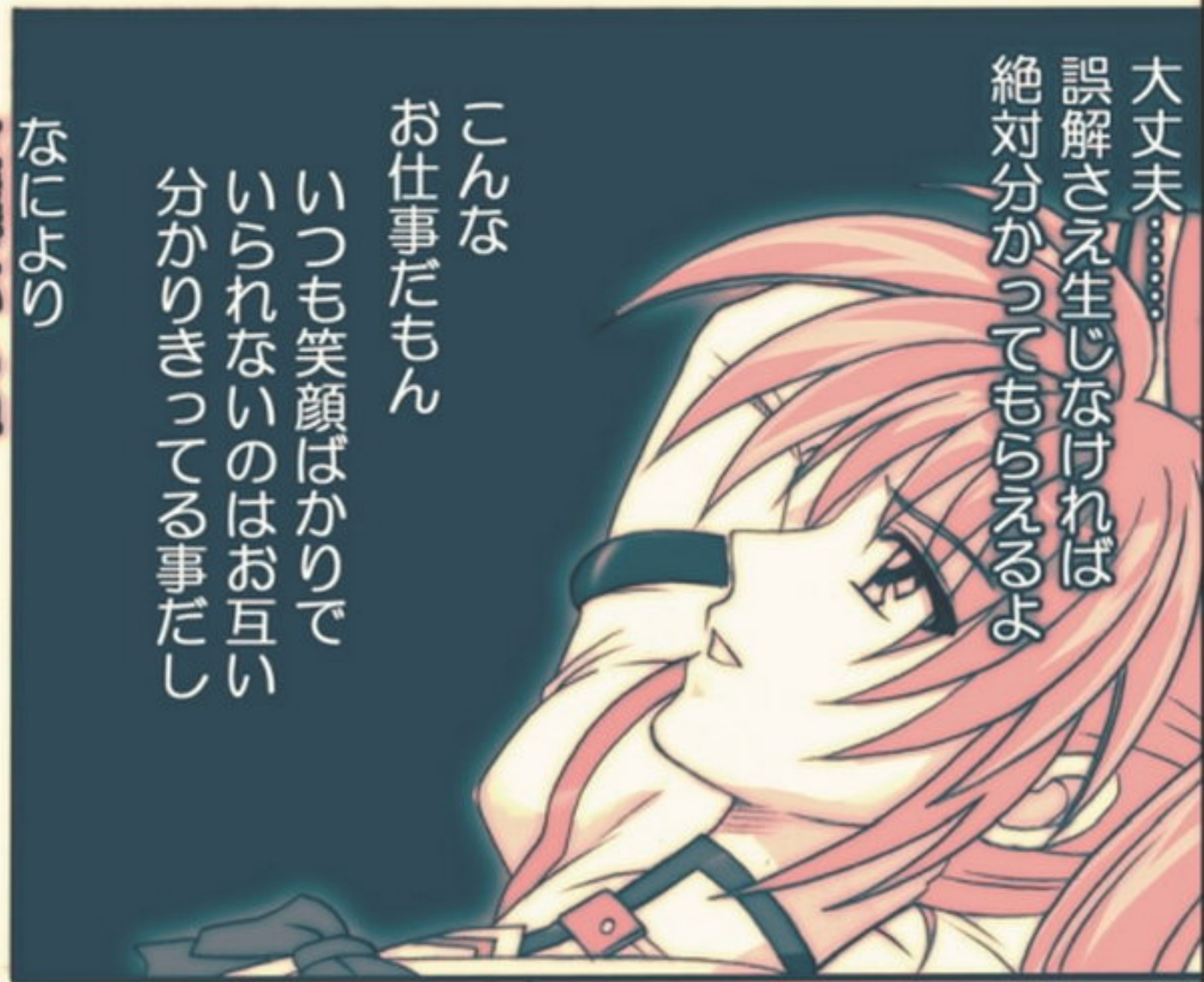


そう……  
なら……妙に隠したりせず  
自分の口から全部言うよ



友達だからね

……そんな

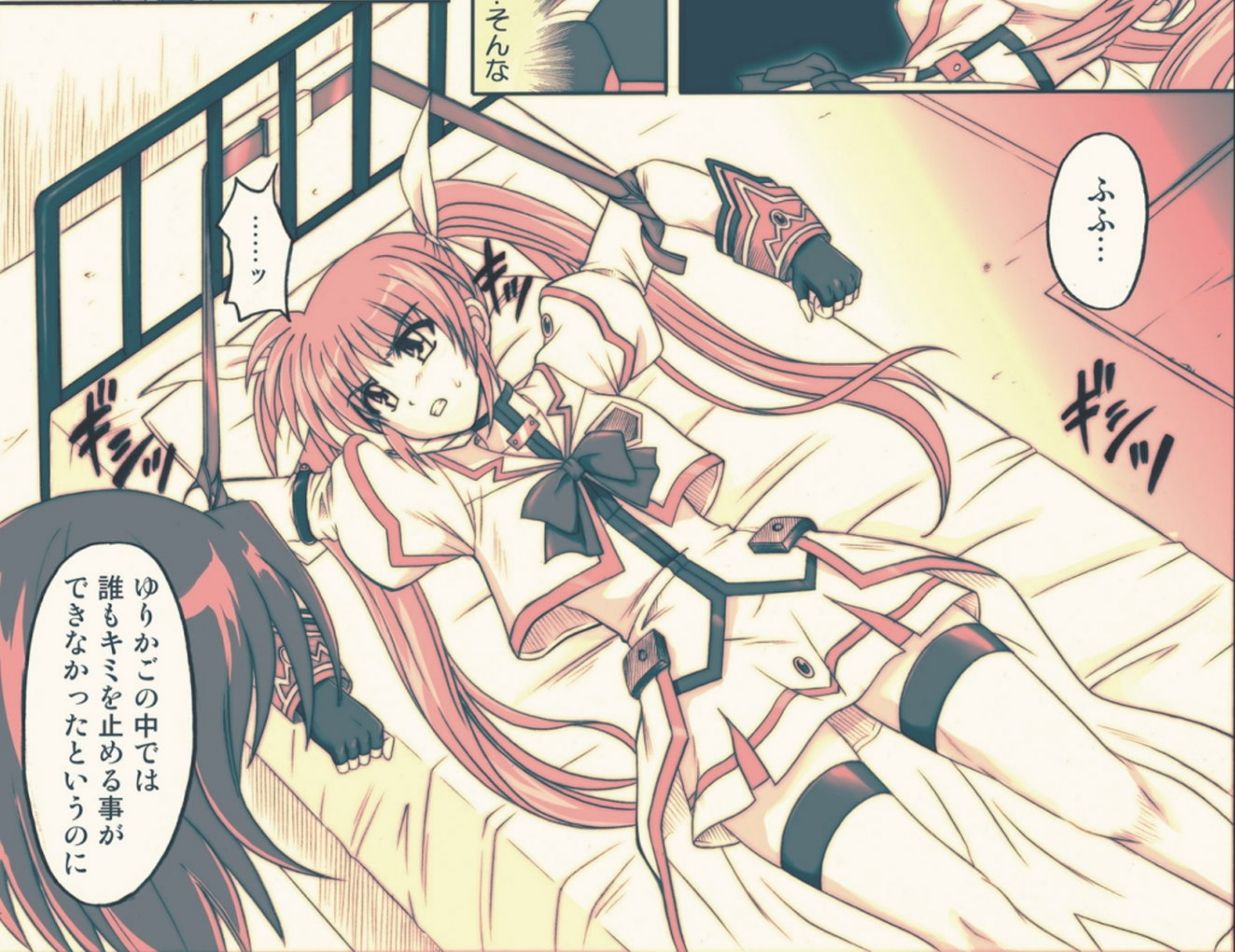


大丈夫……  
誤解さえ生じなければ  
絶対分かってもらえるよ

こんな  
お仕事だもん

いつも笑顔ばかりで  
いられないのはお互い  
分かりきってる事だし

なにより



ふふ……

……ッ

ギシッ

ギシッ

ゆりかごの中では  
誰もキミを止める事が  
できなかったというのに

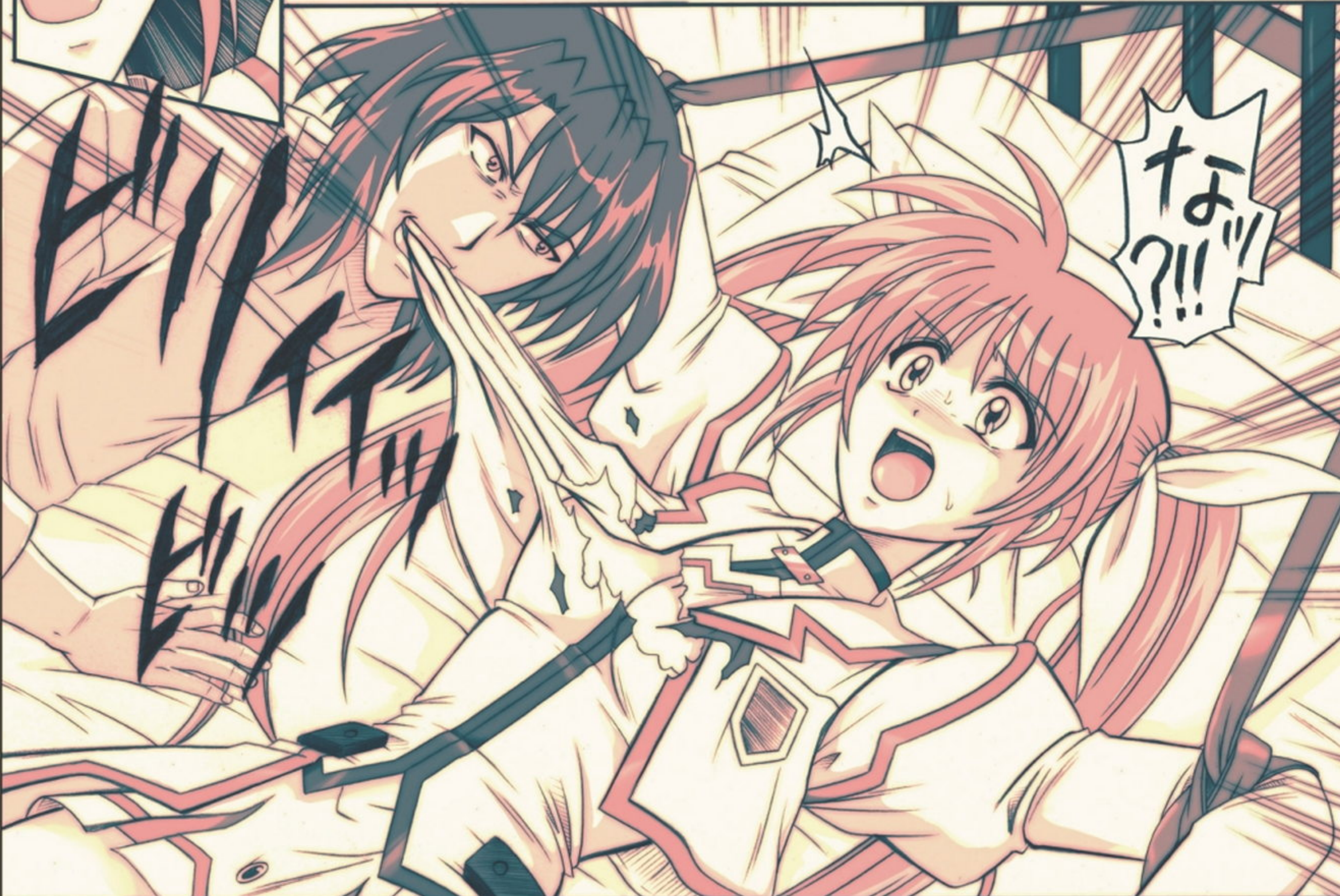


ベッドの上で  
キミの身体を  
自由に  
できるなんてね

全てが  
終わった後に  
今こうして……

本当に……

先の事など分から  
ないものだッ



なっ?!



なにす  
る  
気なのッ

なに……  
……をッ!!!



く……ッ

まあこの調子で  
せいぜい私を  
楽しませてくれ  
高町なのは



ア……

キミが惨めな  
姿を晒して  
くれないと

私の気が  
晴れないからね

[Chapter-2 END]



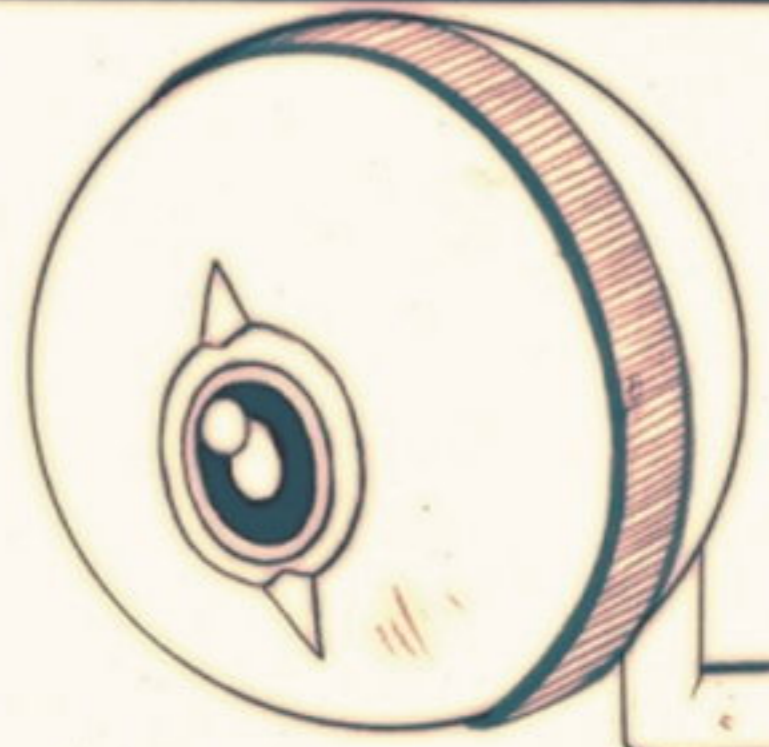
幾多の空戦を  
勝ち抜いてきた  
エースオブエースの  
バリアジャケットも  
防御性能を  
ゼロに落とすと  
実に脆い……

あ……あ……

おやア?  
どうしたんだい  
随分と顔がこわばって  
いるようだが……?

あ……

敵の装甲を破るのが  
得意なキミも……  
自分がやられる側  
になる事には不慣れで動揺  
しちゃったのかなア?



ふむ…  
実にきれいだ

私の造り  
だしてきた  
どの作品にも  
劣らない美しさ…

いいかげん  
強がりは  
よしたらどう  
だい？

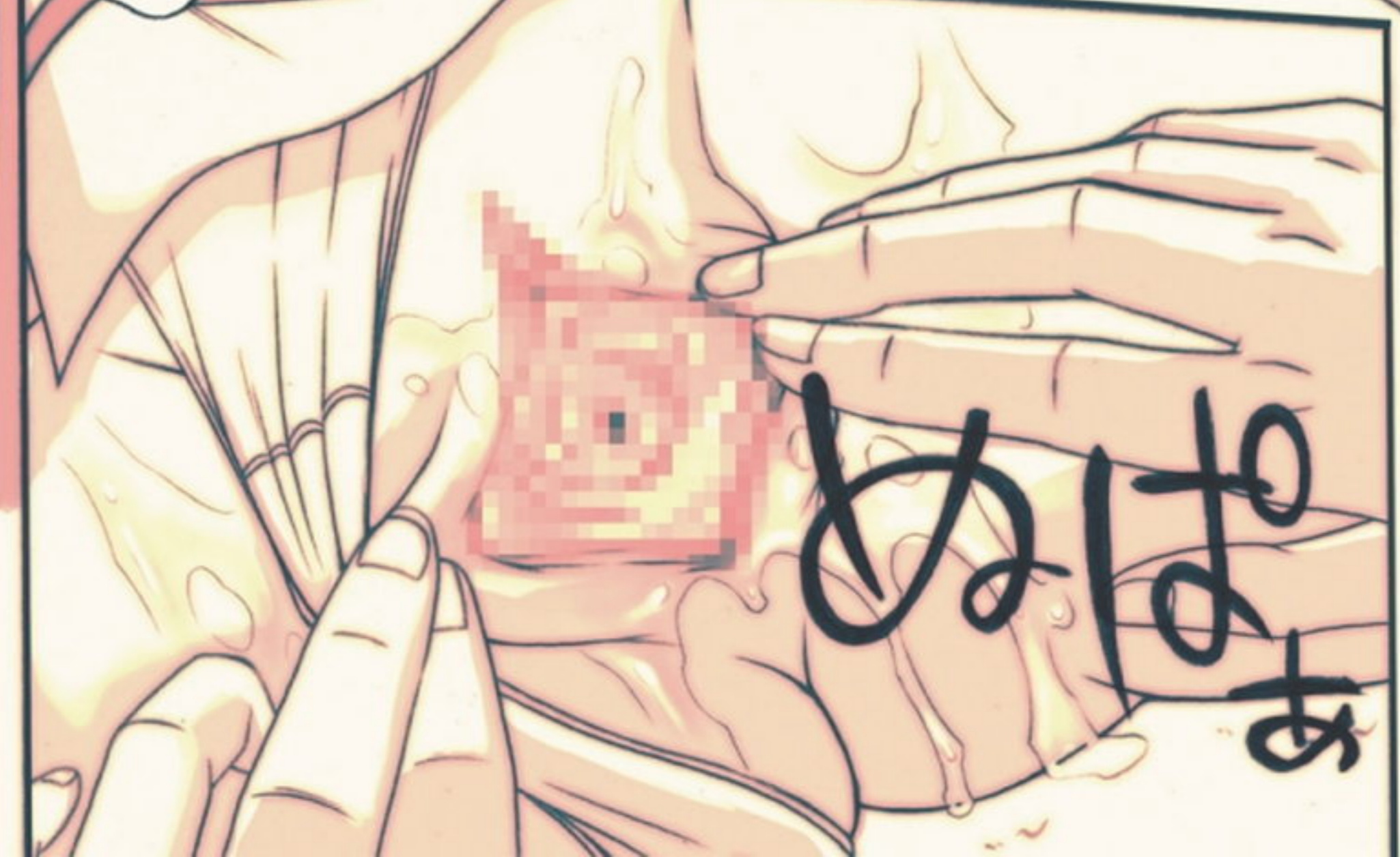


しかし…これまでの  
行為でだいぶ  
濡らしてきたのかな？  
実に刺激的な匂いが  
充滿しているよ



変なことツ  
言わな…いでツ

…へツ



ぬはあ



おめ!!?

たにめツ

舐めな!!!



ヒクッ

あッ

ヒクッ

あッ...  
あッ...

あッ!!!

れろ...  
れろ...

れろ...

もうろくに  
声も押し殺せて  
ないじゃないか

ヒクッ



人の身体には  
理性で制御でき  
ない部分がある  
のだから  
キミだって  
当然例外じゃない

あ……ッ

あああッ……

何も恥じる  
ことはない



それにここは  
ベッドの上

空の上とは  
勝手が違う

あッ

はッ!!

はッ!!

ここではキミも……  
ただのか弱い女に  
過ぎないんだよ?

くっ  
くっ

はッ

だからいい加減  
身を任せたまえ

女である限り  
ここを責められては

はっ...  
はっ...

あま...  
あま...  
だ...  
だ...

あ...  
あ...  
吸...  
吸...

あ...  
あ...  
あ...  
あ...

声をあげずには  
いられないんだから

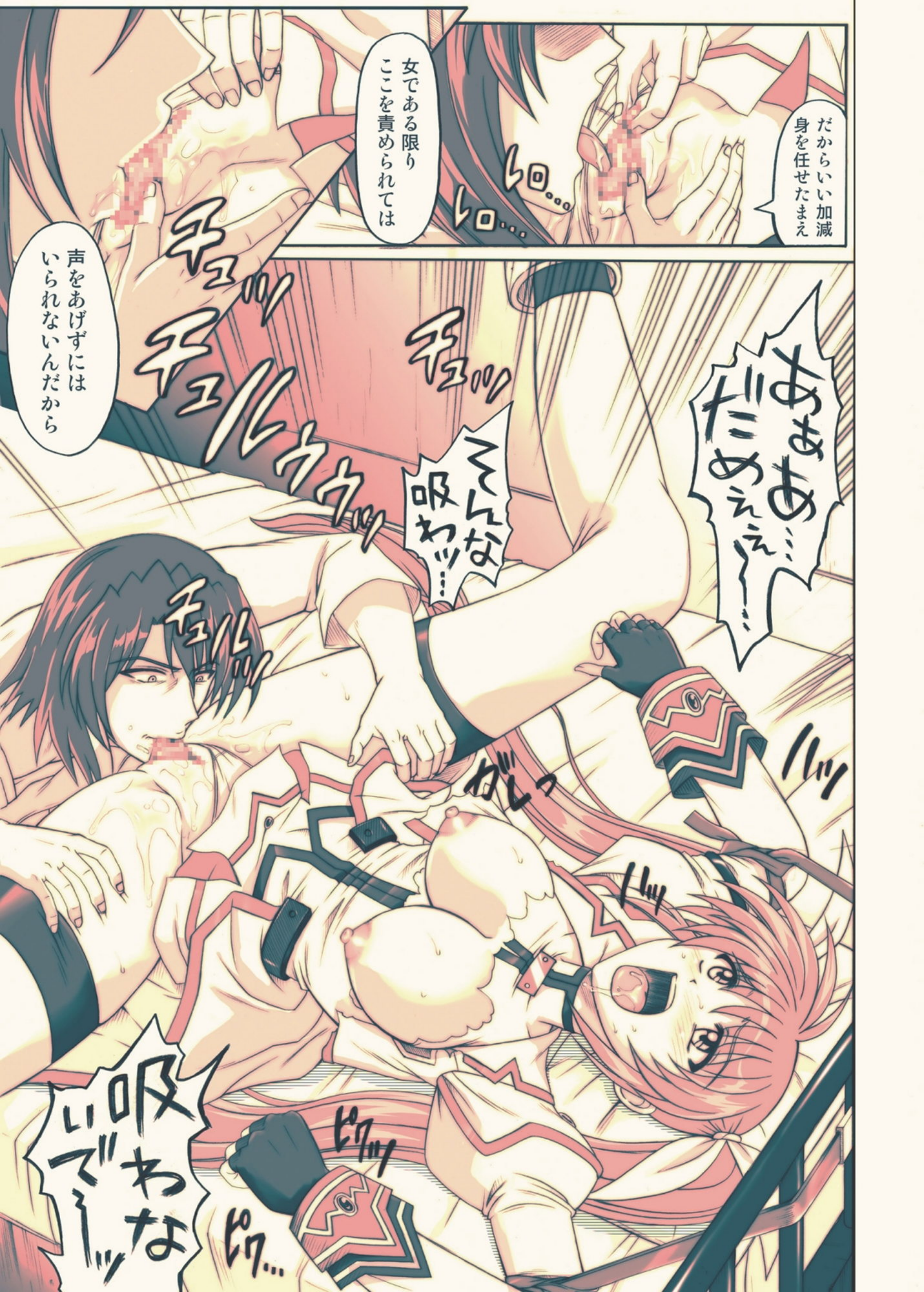
あ...  
あ...

あ...  
あ...

あ...  
あ...

あ...  
あ...  
吸...  
吸...

あ...  
あ...  
あ...  
あ...





はッ…あ…

ビクッ

あッ…

ビクッ

ビクッ

ダ…メツ…

しかしさきほど  
恥じる事はないと  
言ったが…

グズッ

望んでないのに  
強いられる快感が…  
こんなに辛いなんて

ズル…

凄い性器の  
ヒクつき方だな

どうやらまた  
イッてしまった  
ようだね…

はッ

ビクッ

しっかり…  
…しないよ

はッ

はッ

これが…  
犯されるって  
ことなんだ…

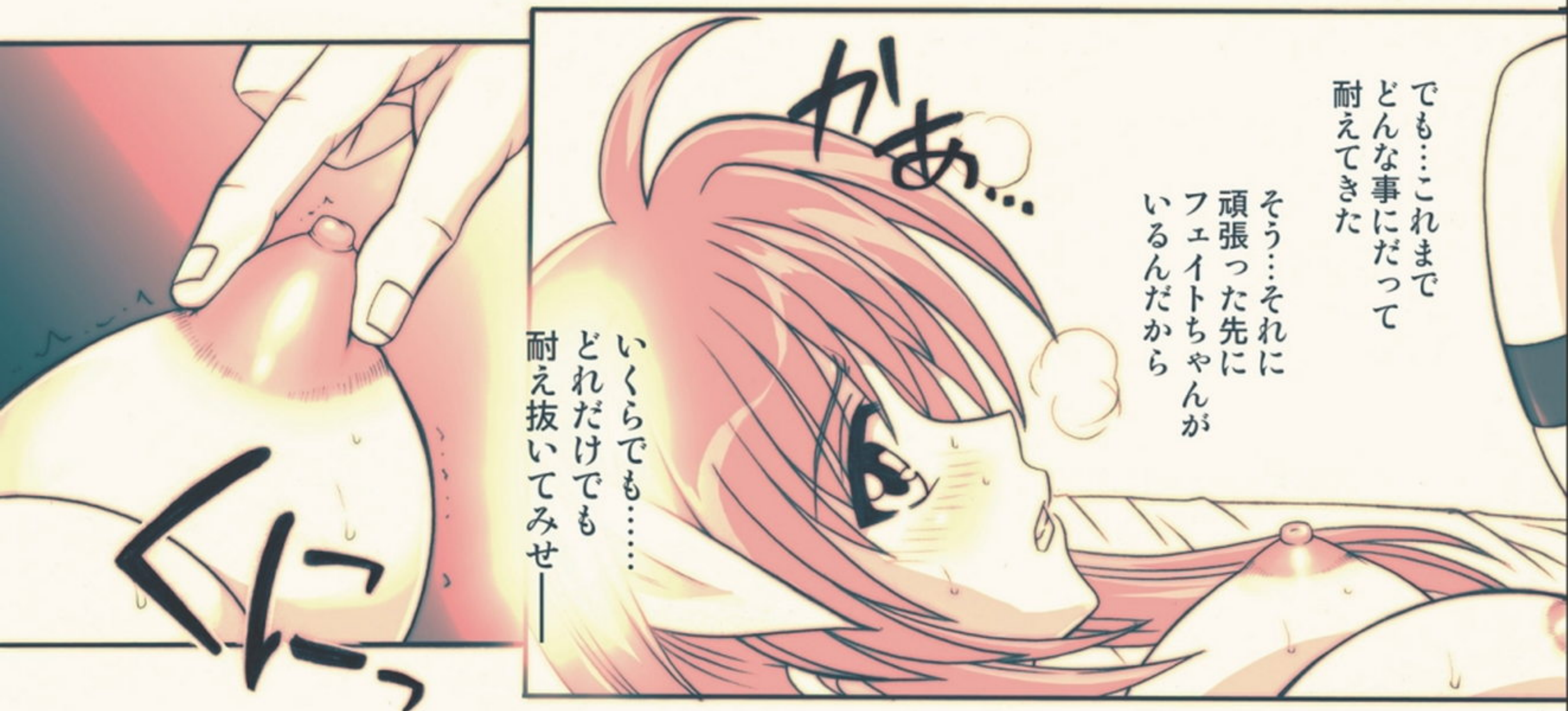
は

は

は

ビクッ

ビクッ



でも…これまで  
どんな事にだって  
耐えてきた

そう…それに  
頑張った先に  
フェイトちゃんか  
いるんだから

かあ…

いくらでも……  
どれだけでも  
耐え抜いてみせ

くにっ



はあああ  
あッ!!!

ははッ…  
乳首の先まで  
なんて感度だ

綺麗な色からは  
想像もつかないほど  
先端が硬くなっているよ?

ビクッ

ビクッ



ふふ…

魔法との  
出会いと同じだな

かつてのキミが  
魔法の力を手に  
した時のように

一度目覚めてしまったら  
きつと凄いことになる  
この身体はツ…

はあ

ゴッ

ゴッ

はあ

はあ



さあ…

私が開放して  
あげよう

やめツ…  
……あツ!

ダメツ…そんなの…  
入らな…  
あ…あ…ツ

キミの中に眠る  
はしたない感情をね

グッ  
グイッ

うっ…

グッ  
グイッ



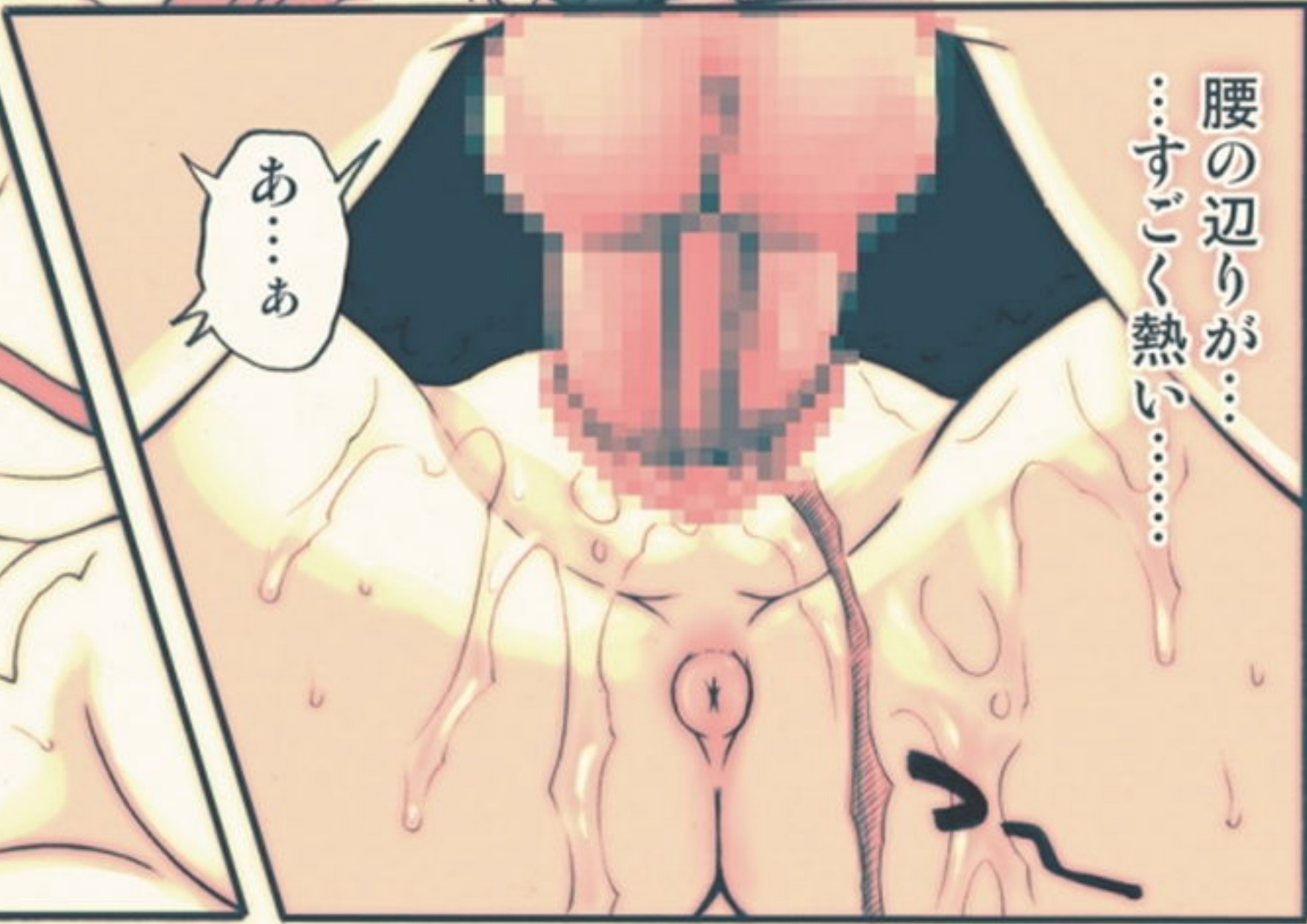
臍を無理やり  
こじ開けられた  
気分は

...どうだい?



私を...  
貫いたんだ...

スカリエッツァの...  
アレが...



腰の辺りが...  
すごく熱い...

あ...あ

これってやっぱり  
...わたし...  
汚れたって事  
なん...だよ...

やがてキミは  
快楽中毒へと  
陥り...  
女の腕さに  
支配される  
ようになる

ユーノ君...  
こんな私の身体...  
嫌がるかな

きっと優しいから  
口では慰めて  
くれるけど...

やっぱり  
やだよ...

それは私…  
ちよつと辛いな……

あぁ!!!

あぁ!!!

あぁ!!!

あぁ

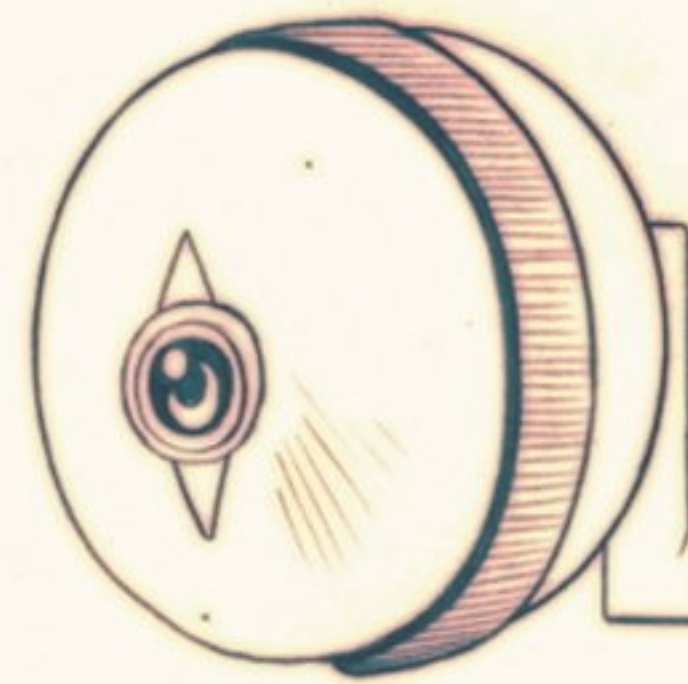
さあ…見せてくれたまえ

無様によがる  
情けない姿をねッ



ギムツ

んっくう



ギムツ

あ……  
…あんッ

ギムツ

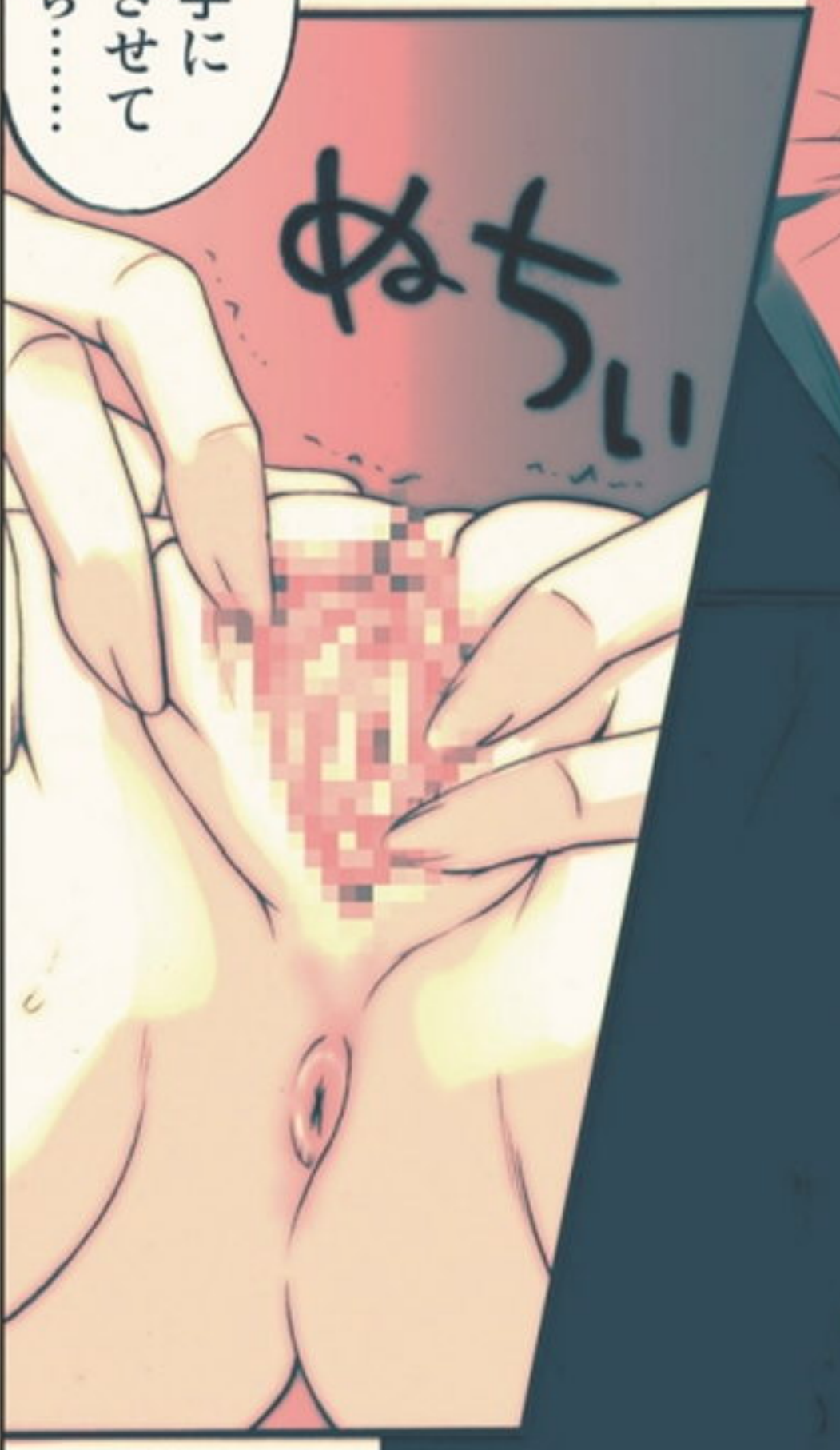
あぁッ…  
…あッ!  
あッ…あッ!







ここで勝手に  
オナニーさせて  
もらうから……



ぬちい

さあ…なんやろ  
あんな風に  
やらしー映像見てたら  
身体が疼いてきてしもた



ダニッ



何なら  
見ててええよ



ピリッ  
……ッ

なのはちゃんの  
辛さに比べたら…  
…軽いもんや

こんなの



はっ...

はっ...はっ...はっ...

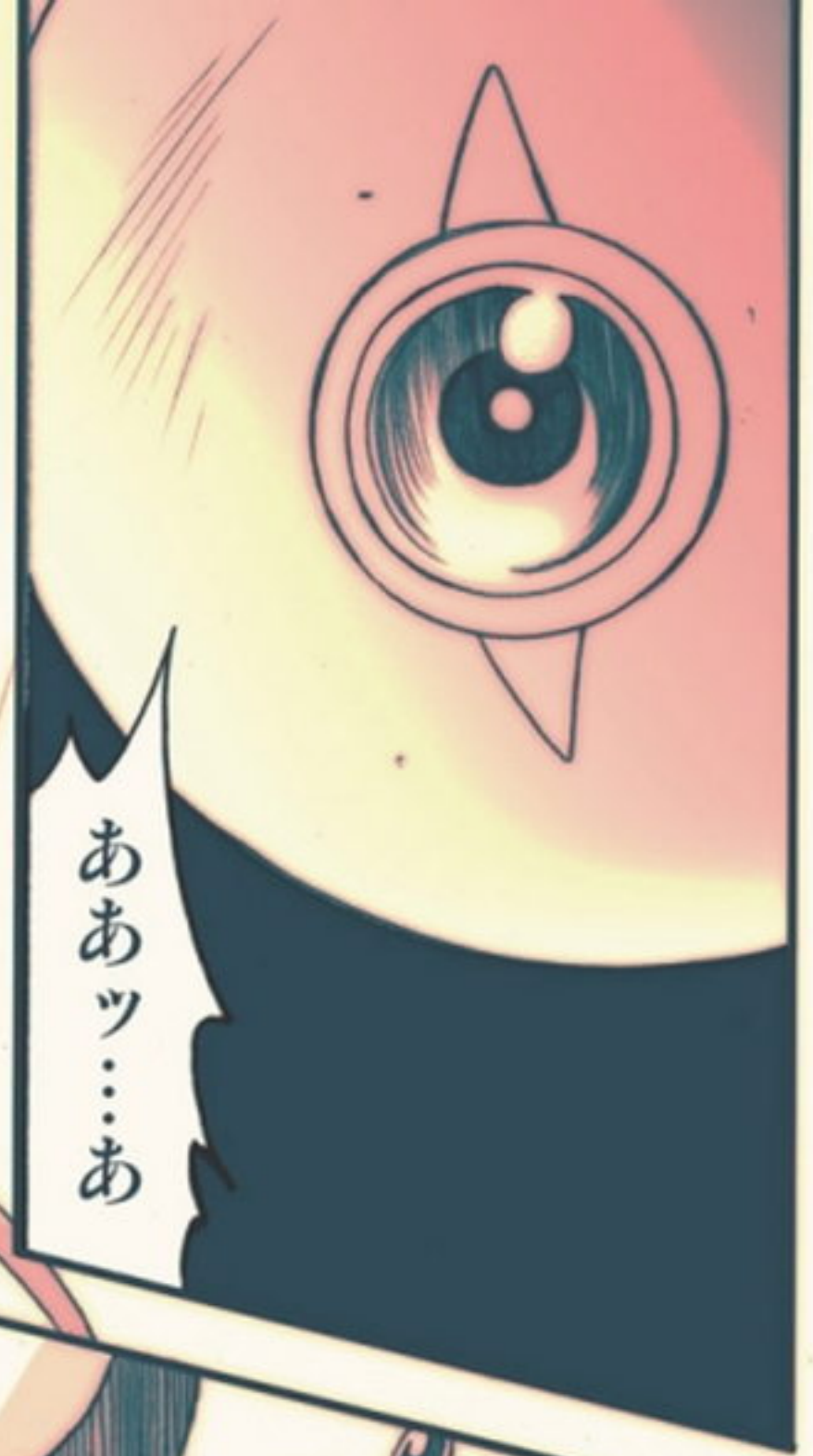
ヒッ

ヒッ

ヒッ

はっ...

はっ



ああッ...あ



はっ...

はっ...



キミには  
同情するよ

しかし  
それにしても...

はっ

はっ



Fの残滓である  
フェイト執務官に

人造魔道師  
計画の  
到達点と言える  
聖王の器

グ  
イ  
ッ

私の技術をベースに  
生まれた個体の中でも  
革新的な出来と言えるあの2人は  
そろってキミに惹かれているが…

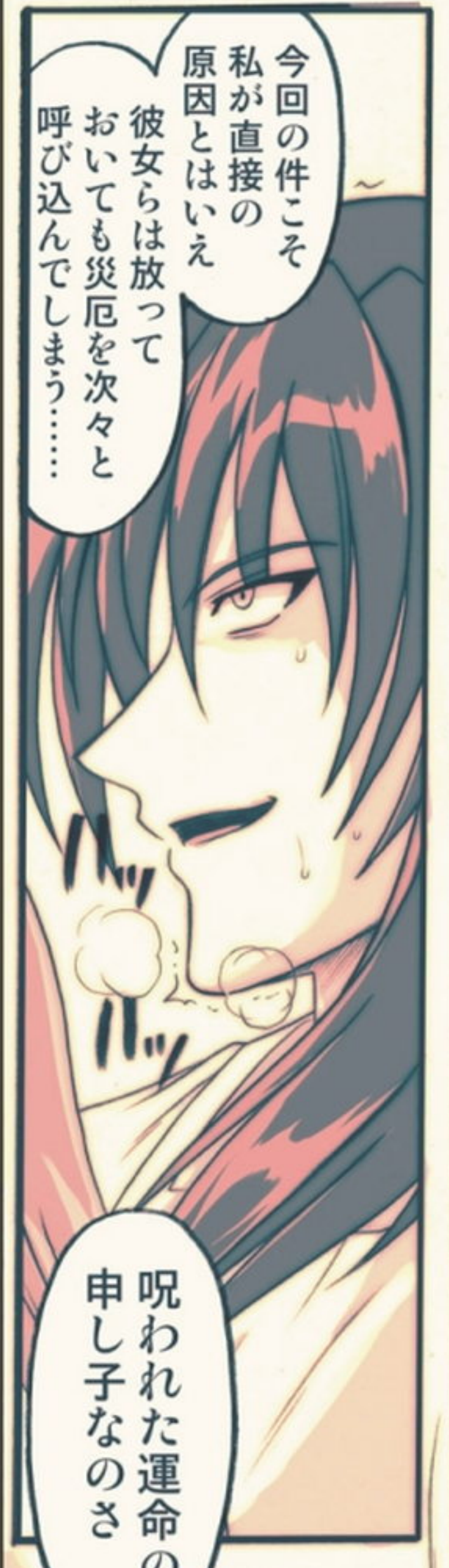
しかし彼女らは  
歪められた  
技術から生まれた  
忌むべき命

今回の件こそ  
私が直接の  
原因とはいえ

彼女らは放って  
おいても災厄を次々と  
呼び込んでしまう……

呪われた運命の  
申し子なのさ

ド  
ゴ  
ゴ





違う……  
違うよ

それ



はあ

ビクッ

……まったく  
気の毒に

はあ



ポタ…

キミもその不幸に  
休む間もなく  
巻き込まれて…

ポタ…



私は  
巻き込まれ  
たんじやない

分け合っ  
てるのッ



……ッ

……



ん？

私とフエイトちゃんは  
友達になれた日から…  
色んな事を  
分け合っって決めた

イヤな事は2人で  
背負って半分ずつ

嬉しい事は  
2人一緒に喜んで  
倍にしようって

だから…  
あなたは勘違い  
してる

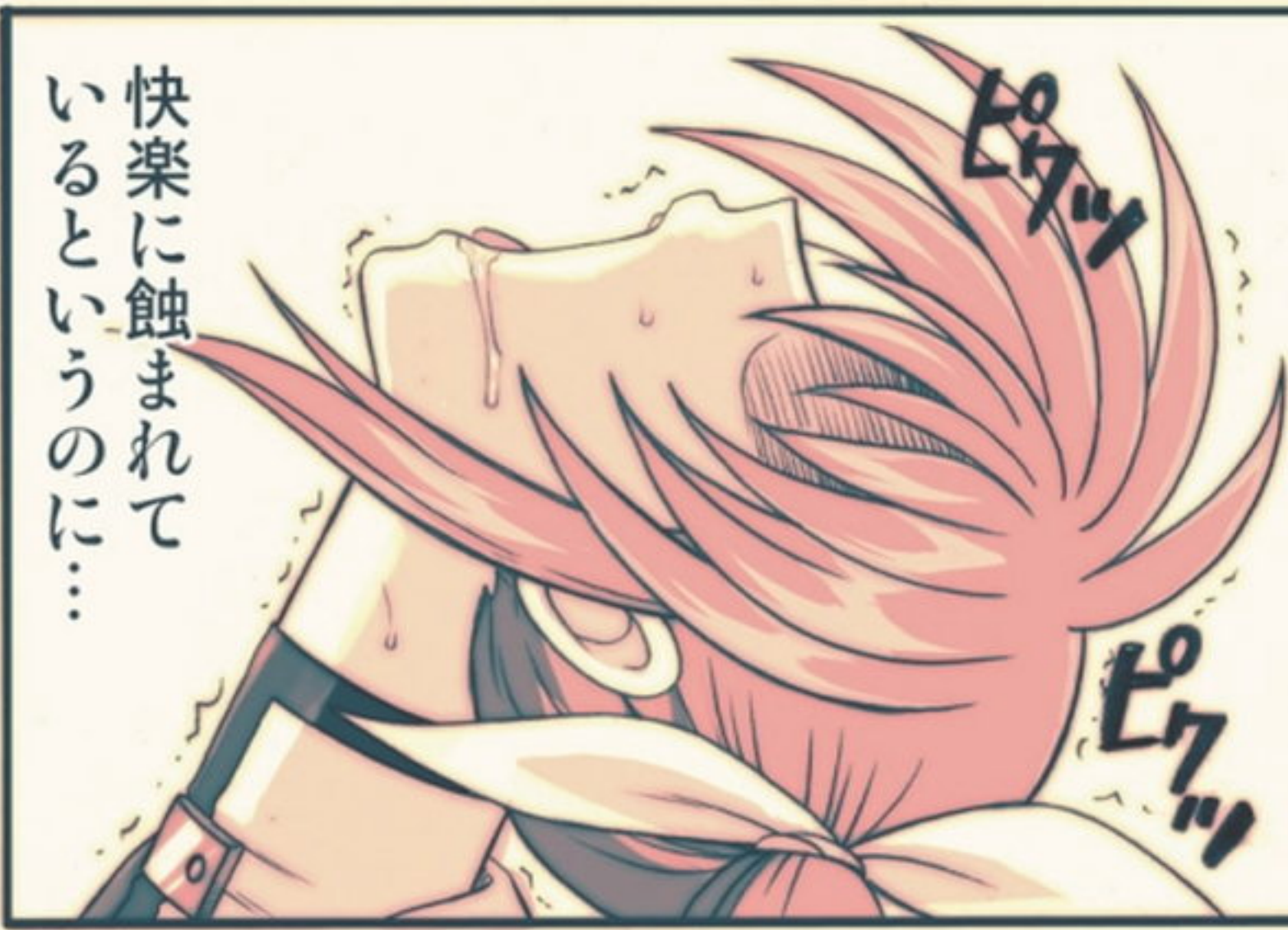


まったく……  
これだけ蹂躪されて

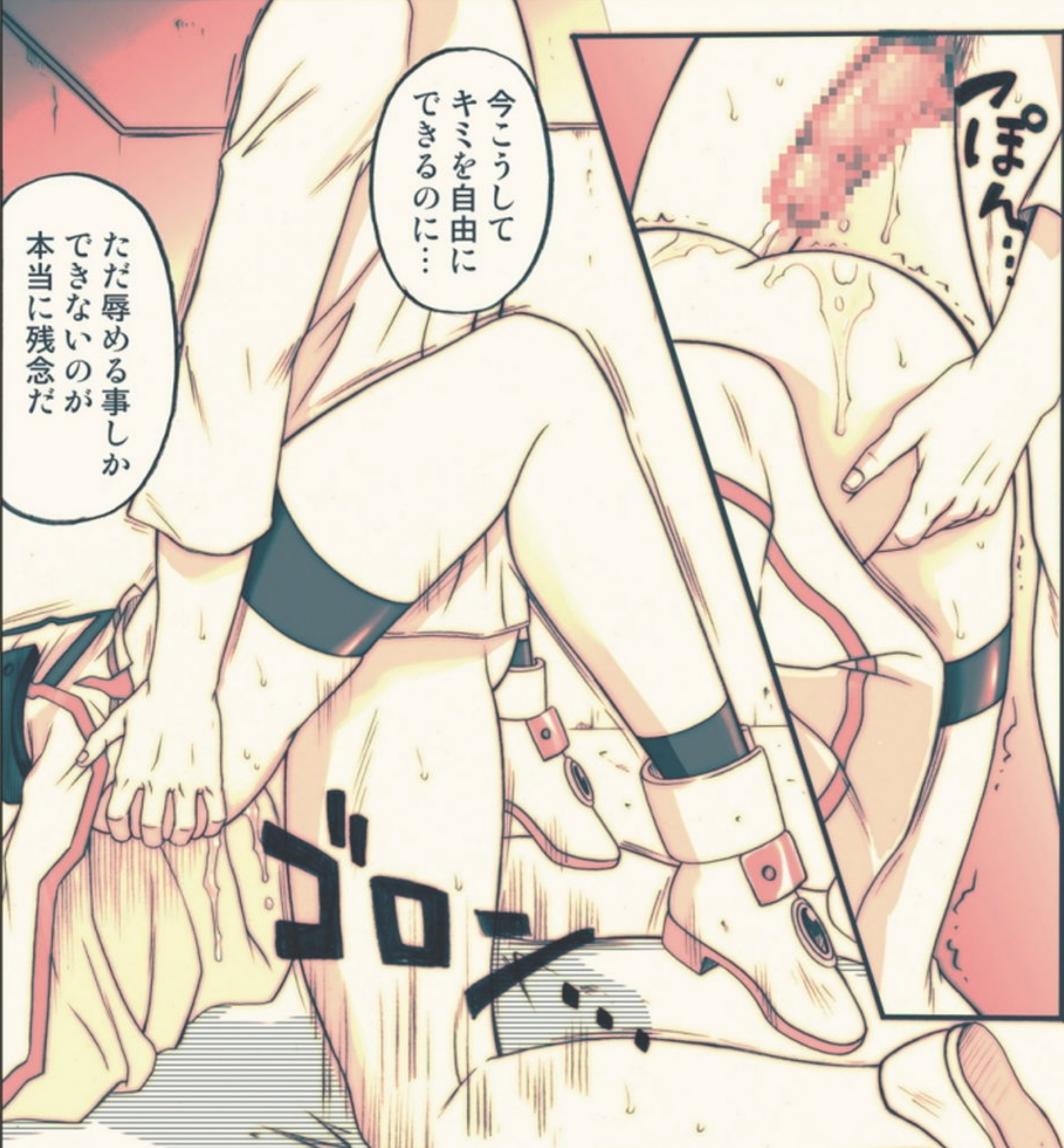


なるほど  
ねえ

これが……  
キミの持つ  
二つ名が示す  
ものか

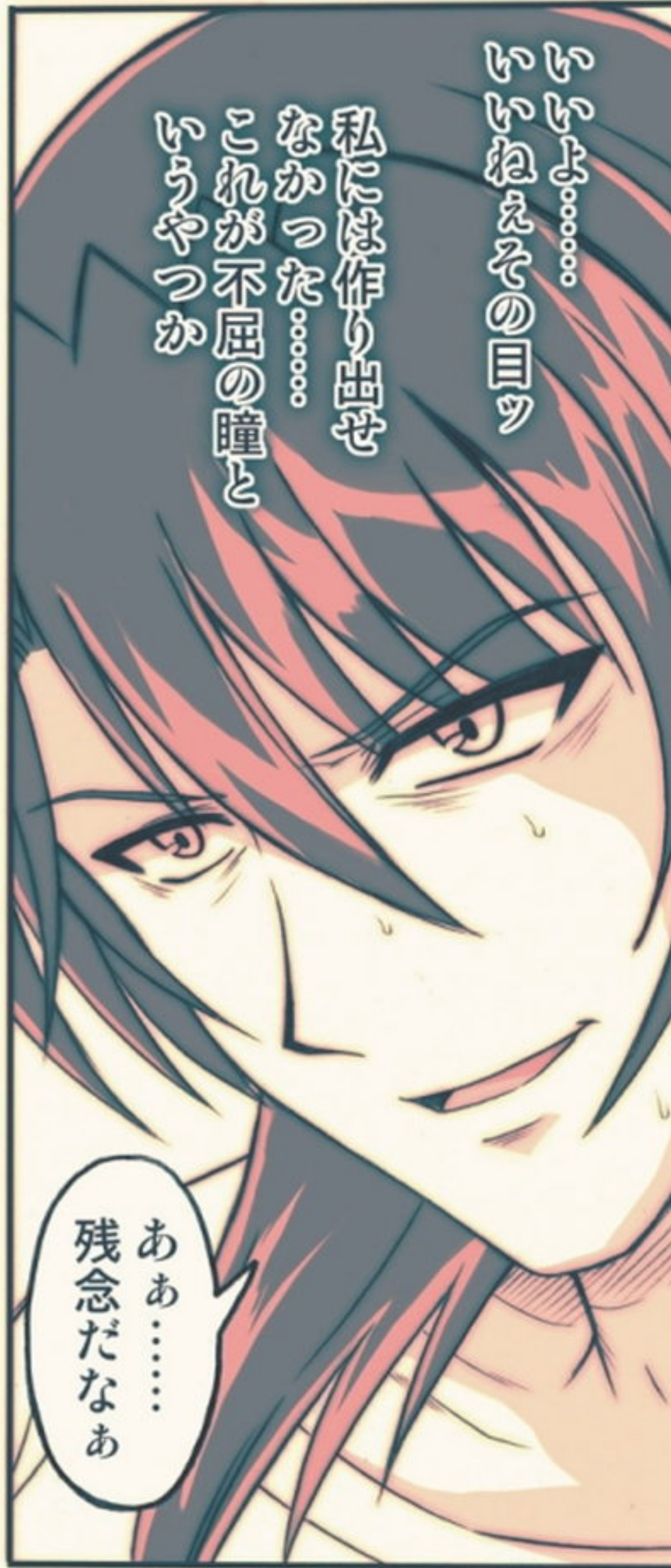


快楽に蝕まれて  
いるというのに……



今こうして  
キミを自由に  
できるのに……

ただ辱める事しか  
できないのが  
本当に残念だ



ああ……  
残念だなあ

まったく……  
すっかりキミに  
魅せられて  
しまったな

思えばFの残滓でも……  
人造魔道師でも  
戦闘機人でもない

ただの純粹な  
人間であるキミが  
何故あれほど  
までの戦技を手に  
しているのか

あ、  
あ、  
あ、

あ、  
あ、

あ、  
あ、

それこそが更なる  
進化の可能性だったの  
かもしれないのに……

私は気付くのが  
遅すぎた

あああ……  
できれば今すぐ……  
この身体を徹底的に  
調べたいなあ

培養液の中で……  
この肌は何本も  
チューブを突き刺し……  
リンカーコアを露出させ

ゆっくりと  
2人っきりの時間を……

ハア

ハア

ア〜



欲望が……ッ

トコシ

久しぶりに  
みなぎって  
きたよ

ふふふ……ッ

ふ……

ふふ……



ああ……  
本来の私に  
逆戻りだ

追い求める  
ものが定まって  
…性欲なんて  
失せてしまったよ



ピュッ

ピュッ

ピュッ

ピュッ

ピュッ…

楽しくなる!

く……  
くハハハッ

これからもっと  
楽しくなる!

ハハハハッ



しかし……  
思ったよりも  
管理局っていうのは  
融通が利くんだねえ

無論すべては  
高町なのはの自己犠牲が  
あってこそだろうが…  
それにしてもレジアスは  
ここまで私のいう事を  
すんなり呑んでくれなかったよ



……早くッ

早く話して  
下さいッ

あなたが  
あの寄生体に関して  
『今すぐ』『すべて』  
『真実』の情報を  
『無条件』で出すッ

これが約束の  
はずです!

しかし…  
本当に私の  
言うとおりにして  
くれたんだろうね?

この目で一瞬…  
確認ぐらいはしないと  
いまいち信用できないな

……どこまでも…  
……この男はッ

あなたの  
要望に従い…

高町一尉を  
別の軌道  
拘置所へと転送

収容されてる  
戦闘機人4番と  
現在面会中です

録画映像…か

あなた自身と  
戦闘機人との接触や  
リアルタイム通信などの行為は  
私の権限を大きく超えていて  
できません

これ以上の事となると…  
…あなたの知っての通り  
融通の利かない管理局の  
対応となりますから

そうかい……

ま…それじゃあ  
ボチボチ  
話すとするよ

はあ

カラリ…  
カラリ

はい…  
それじゃ  
いいですかあ

はあ

ピクッ  
ピクッ

はあッ

この  
マグカップ…

落としたり  
あなたの負けて  
ルールですからね

はあッ

はあッ…

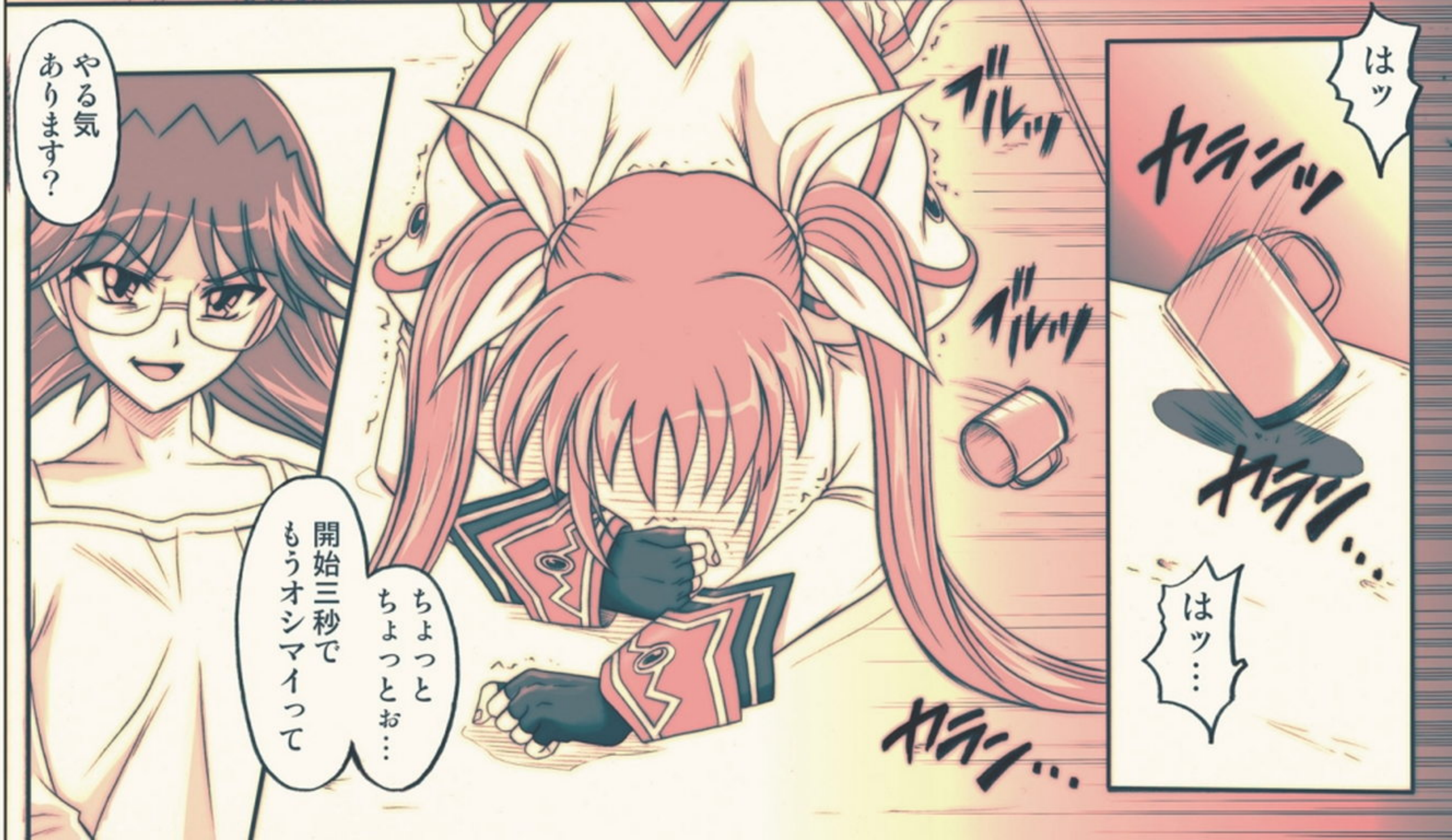
ちやーんと耐えて  
下さいよお

ブルッ  
ブルッ





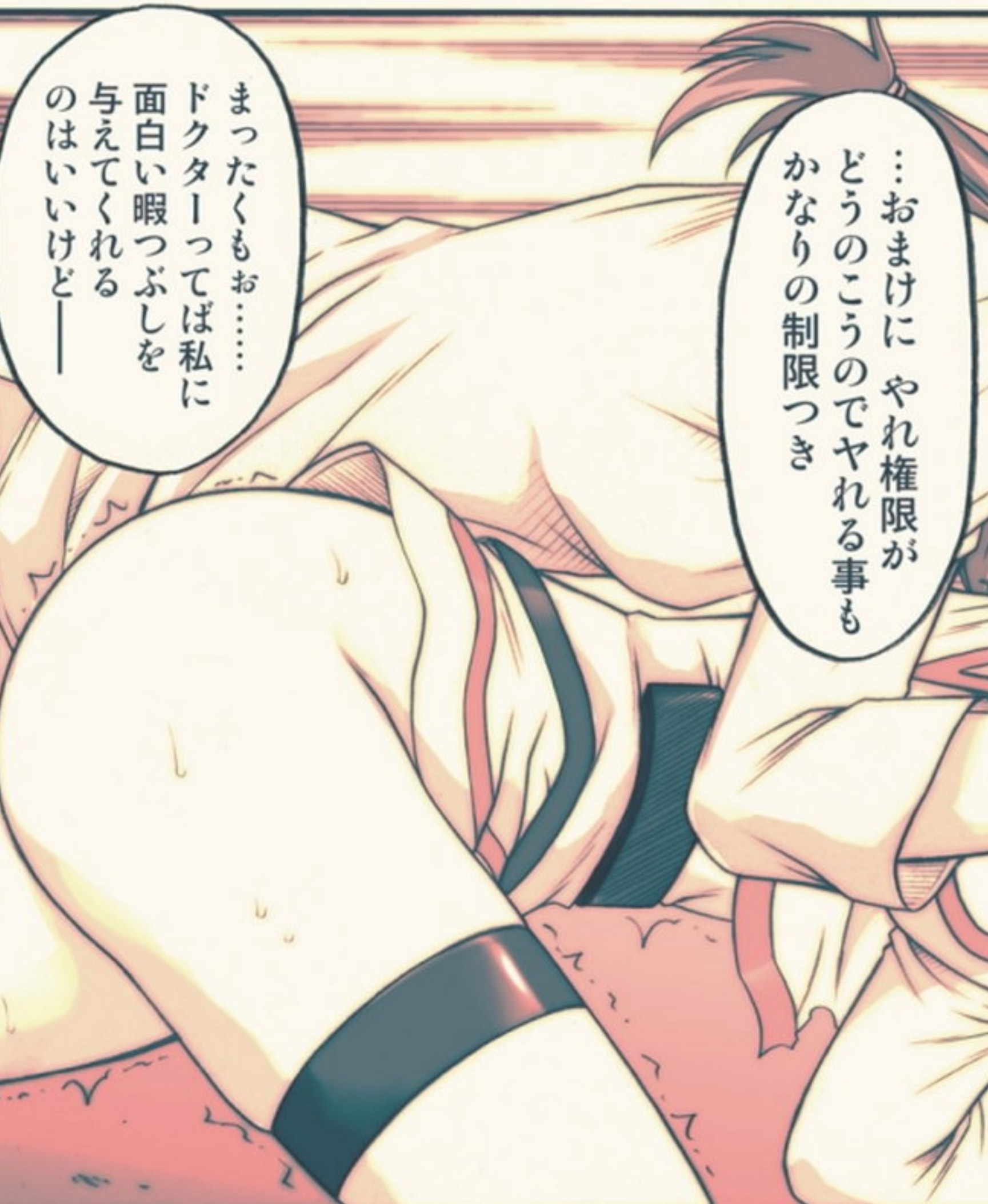
そーら……  
お尻の穴を  
ぐるんぐるん  
かき回し〜



やる気  
ありません？

ちよつと  
ちよつとお…  
開始三秒で  
もうオシマイって

はッ  
カランッ  
はッ…



でもあなた：ドクターから言われてるんでしょ？私の命令通りにしろって

へっへっへっ

ツポッ

こんなフザけた事に…：一体何の意味があるの…ッ

とはいえいきなり叩き起こされてあなたが来て

：おまけにやれ権限がどうのこうのでやれる事もかなりの制限つき

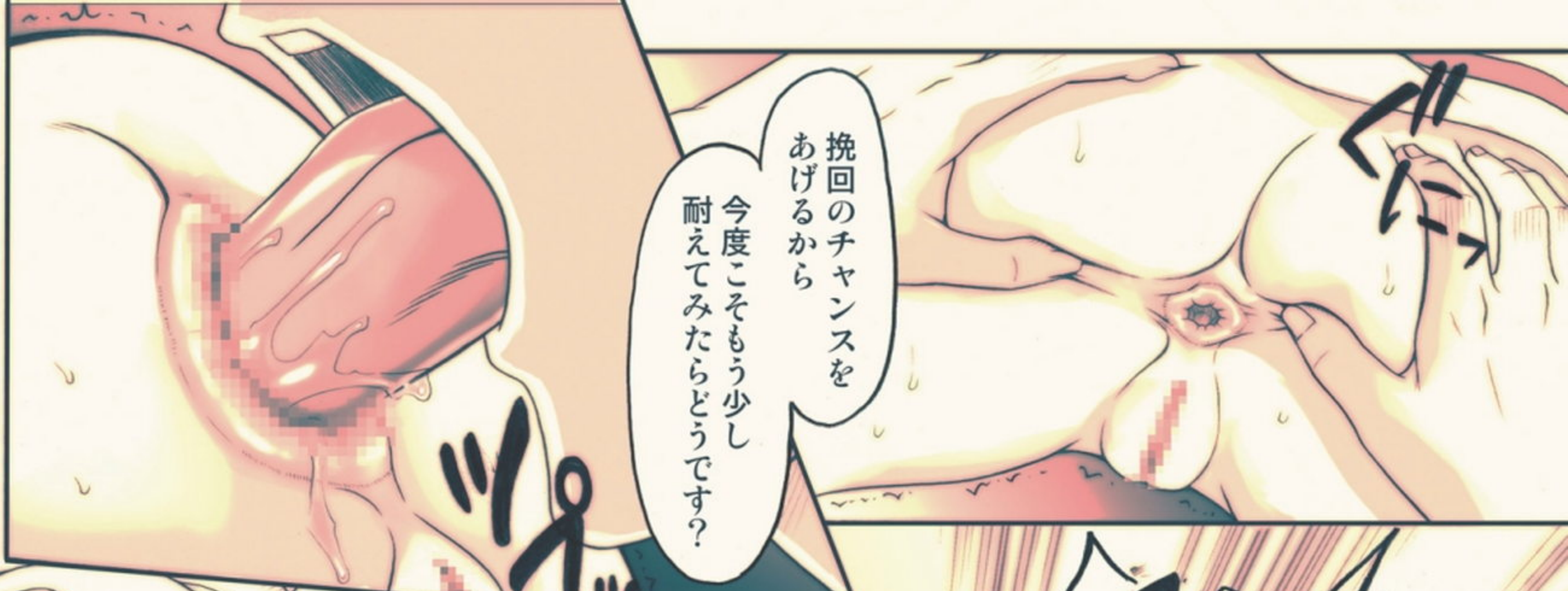
まったくもお…：ドクターってば私に面白い暇つぶしを与えてくれるのはいいけど—

その辺りまでしっかり準備してからパスして下さいよねー

うッ…

それにしてもおさっきのゲーム

管理局のエースが開始三秒しかもたなかったなんて…：あまりに情けないと思いませんか？



挽回のチャンス  
をあげるから

今度こそもう少し  
耐えてみたらどうです？

ッ  
ッ  
ッ

くはあッ!!!



キョッ...

キョッ...

あらあら  
お下品なニオイ

はあッ!!!



ハッ  
ハッ

あへッ.....  
.....あッ.....

あッ.....

じゅふ

あッ.....

じゅふ



カラン...

あ……

やっぱ  
ダメですね



まったく……

やわな鍛え方してるから  
これぐらいの刺激で  
あんあん言っちゃうん  
ですよ

良い機会だから  
一から鍛えなおして  
あげましょうかあ？

はーい……  
それじゃ今日の  
教導メニュー

出来ない  
高町なのはさんに  
愛のムチを打って  
あげましょう♪

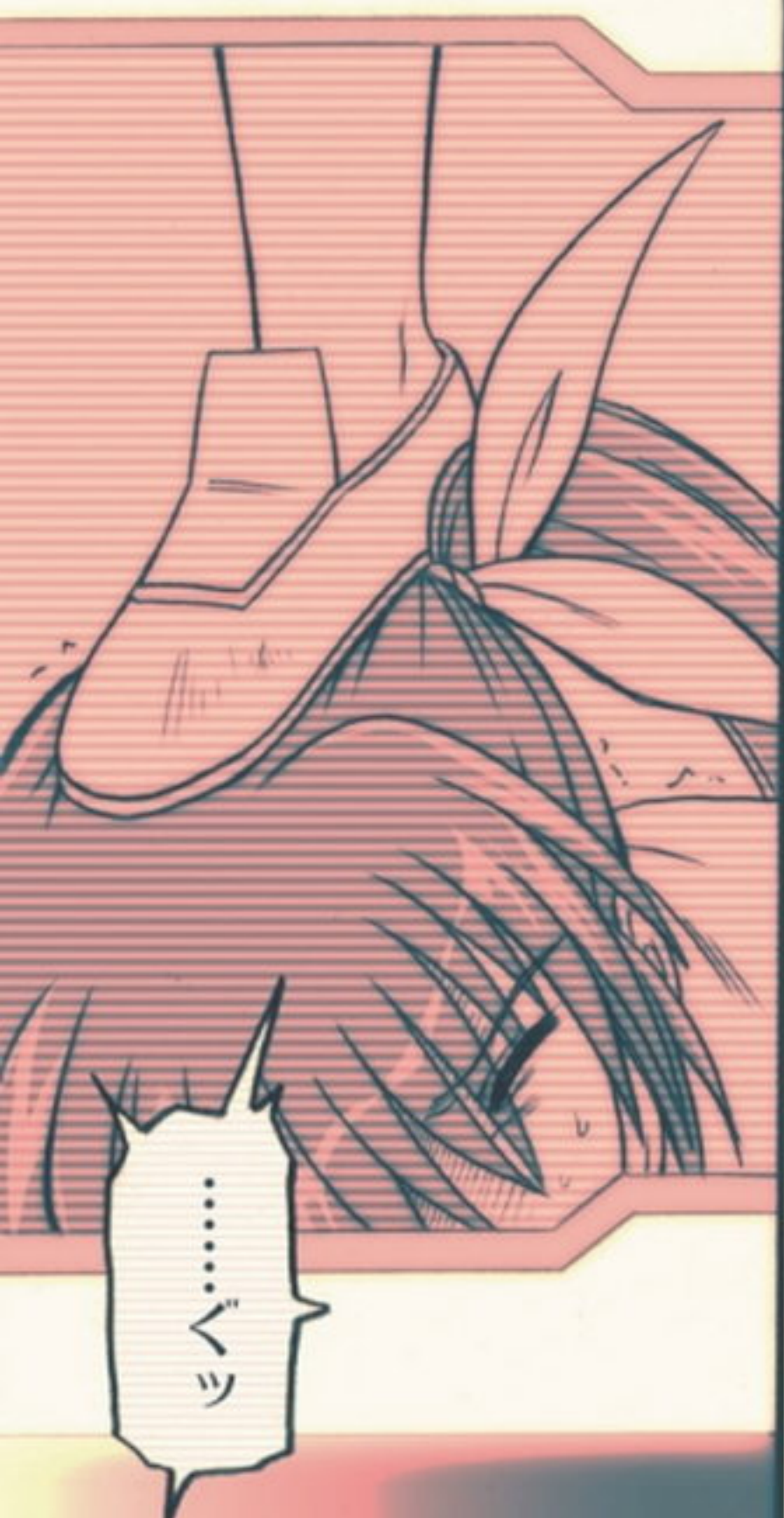


ふふ……そうよ  
これから  
教導ごっこ  
しましょう

あなたは相当  
出来の悪い  
生徒さん役……

う……  
くうッ

ヒッ  
ヒッ



……  
ぐッ



彼女と話して  
フェイト執務官への  
興味が相対的に薄らいだ

なぜなら高町なのはを  
苦しめる事が  
新たな楽しみに  
加わったからね

それで  
解決方法を  
教えたんだよ

あの女を  
もつともつと  
巻き込みたくてね

さあ

これからが  
大変だよ

カキ

……ッ

寄生体で  
おかしくなった  
フェイト執務官

ほらさつさと  
始めちゃって  
下さいー

私に逆らっちゃ  
いけないのは  
上司から聞いて  
るでしょう？



彼女を止める事が  
できるのは  
おそろく…

高町なのは  
のみ…

うっふふーのーふう♪  
部下にこーんな恥ずかしい  
かつこうさせられて

いいザマですねえ

